官報　號外　明治四十年二月十五日　金曜日　印刷局

○第二十三回帝國議會衆議院議事速記錄第七號

明治四十年二月十四日（木曜日）午後一時十六分開議

議事日程　第六號　明治四十年二月十四日

午後一時開議

第一　貨幣法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第二　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉　第一讀會

第三　帝國大學特別會計法案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第四　學校及圖書館特別會計法案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第五　關東都督府特別會計法案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第六　臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第七　戸籍法中改正法律案（小川平吉外二名提出）　第一讀會

第八　衆議院議員選舉法中改正法律案（島田三郎外二名提出）　第一讀會

第九　鹽專賣法廢止法律案（早速整爾外二名提出）　第一讀會

第十　裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案（西村丹治郎外二名提出）　第一讀會

第十一　萬國博覽會開設ニ關スル建議案（森本駿外二名提出）　（委員長報告）

第十二　ローマ字普及ニ關スル建議案（松本君平外三名提出）

第十三　鐵道計畫ノ速成改善ニ關スル建議案（佐竹作太郎外百五十七名提出）

○副議長（箕浦勝人君）　是ヨリ諸般ノ報告ヲ爲シマス

（書記朗讀）

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

煙草專賣法中改正法律案

提出者　森本駿君　鹿島秀麿君　宮古啓三郎君

菊池九郎君　矢島中君　大畑純次君

一新潟縣郡部選出議員波多野傳三郎君昨十三日午後九時死去セラレタル旨届出アリタリ

（左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）

一指定セラレタル委員左ノ如シ

輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案

菅原傳君　渡邊修君　齋藤珪次君

中倉万次郎君　林小一郎君　奥野市次郎君

山本悌二郎君　森本駿君　關野善次郎君

西村丹治郎君　山口達太郎君　神崎東藏君

南條吉左衞門君　三井忠藏君　駒林廣運君

野尻邦基君　富島暢夫君　藻寄鉄五郎君

樺太廳特別會計法案

木暮武太夫君　石井信君　島津貞知君

野口源一郎君　安島重三郎君　平島松尾君

丹尾賴馬君　横田虎彦君　花井卓藏君

樺太地方裁判所及同管內二區裁判所設置ニ關スル法律案

遠山正和君　武滿義雄君　後藤文一郎君

宮本嘉樂君　尾形兵太郎君　野木善三郎君

小河源一君　花井卓藏君　金子元三郎君

東京府北多摩郡埼玉縣北足立郡境界變更法律案

漆昌巖君　中村清一郎君　西村專太郎君

中西孫太郎君　星野仙藏君　堀田連太郎君

山口小一君　高梨哲四郎君　山口熊野君

保稅倉庫法中改正法律案

石川清君　三輪傳七君　田中定吉君

柳田藤吉君　金岡又左衞門君　井手武右衞門君

佐治幸平君　服部小十郎君　加瀨禧逸君

一請願委員ノ補闕選舉ニ左ノ通當選セラレタリ

第七部請願委員　菅澤重雄君

一委員長及理事左ノ通當選セラレタリ

輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案

委員長　菅原傳君　理事　（南條吉左衞門君）（神崎東藏君）

樺太廳特別會計法案

委員長　橫田虎彦君　理事　安島重三郎君

保稅倉庫法中改正法律案

委員長　柳田藤吉君　理事　加瀨禧逸君

樺太地方裁判所及同管內二區裁判所設置ニ關スル法律案

委員長　遠山正和君　理事　花井卓藏君

東京府北多摩郡埼玉縣北足立郡境界變更法律案

委員長　山口小一君　理事　星野仙藏君

○長谷場純孝君　私ハ唯今ノ報告ニ依リ、吾ミガ平常敬意ヲ拂ヒツヽアルトコロノ、我同僚波多野傳三郎君ノ逝去ノ報ヲ聞キマシテ、誠ニ哀悼ノ情ニ堪ヘマセヌ、波多野君ハ憲政本黨中錚々タル人トシテ、數年ノ間此議場ニ立タレテ國事ニ盡瘁サレタトコロハ、皆吾人ノ認ムルトコロデアリマス、然ルニ唯今突然逝去ノ報ヲ耳ニシテ、實ニ哀悼ノ情ニ堪ヘマセヌ、私ハ茲ニ恭ク弔意ヲ表シマス

○副議長（箕浦勝人君）　波多野傳三郎君逝去ニ付イテハ、先例ニ依リ議長ヨリ弔詞

ヲ贈ルコトニ致シマス――是ヨリ會議ヲ開キマス、諸君ニ御諮リ致シマスガ神戸松之輔君病氣ニ依リ昨十三日ヨリ二週間請暇ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナイト認メマシテ、許可スルコトニ決シマス、大久保弁太郎君病氣ニ依リ本日ヨリ二週間請暇ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナイト認メマシテ、許可スルコトニ決シマス、議事日程第一貨幣法中改正法律案第一讀會――議案朗讀

第一　貨幣法中改正法律案（政府提出貴族院送付）　第一讀會

〔書記朗讀〕

貨幣法中改正法律案

貨幣法中左ノ通改正ス

第五條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二　銀貨幣

五十錢二十錢純銀八百分參和銅二百分

十錢純銀七百二十分參和銅二百八十分

第六條第六號ヲ左ノ如ク改ム

六　十錢銀貨幣　六分（二「グラム」二五）

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

從來發行ノ十錢銀貨幣ハ從前ノ通通用スヘシ

〔大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇〕

○大藏大臣（法學博士阪谷芳郎君）　此法律案ハ唯今ノ十錢銀貨ヲ改造致シマスル法律案デ、唯今ノ十錢銀貨ハ銀ノ品位ガ八百位デアリマシタノヲ、七百二十位ニ下ゲル、イロ〳〵箇條ガアリマスケレドモ、要スルニ八百位ノ品位ヲ七百二十位ニ下ゲルト云フダケノ法律案デアリマス、元來昨年貳拾錢銀貨ト五拾錢銀貨ハ既ニ改正ニナリマシタノデゴザイマシテ、其際ニ拾錢銀貨モ一緒ニ改正致スノガ相當ノ順序デアリマシタノデゴザイマスガ、此拾錢銀貨ノコトニ付キマシテハ政府ニ於テ設ケマシタル調査委員ノ間ノ議論ガ決シナカッタ即チ千八百位ノ品位デ、拾錢銀貨ヲ造リマスト、非常ニ量目ガ輕クナリマシテ、授受致シマスルノニ不便ニナリマス、大キサガ餘リ小サ過ルノデ、ソコデ造幣局長ノ議論ハ七百二十ニシテ量目ヲ減サヌト云フ論デアリマシタ、然ルトコロガ尚他ノ委員ノ議論ハ七百二十ニ品位ヲ下ゲルト云フコトハ、銀ノ色合ヲ惡クスル虞ガナイカ、斯ウ云フ論ガアリマシテ、遂ニ昨年ハ拾錢銀貨ダケハ先ッ暫ク研究ヲスルガ宜カラウト云フコトデ、改正ヲ致シマセナカッタ、爾來引續キマシテ段々論究モ致シ、又各國ノ振合ヲモ取調ベテ見マシタトコロガ、七百二十ノ品位ト云フコトハ色合ノ上ニ於テ差支ノナイト云フ見込ガ付キマシタノデ、ソレデヤハリ造幣局長ノ意見ノ如クニ、品位ヲバ七百二十ニ下ゲテ、量目ハ現行ノ通變ヘナイ、サウ致シマスルト、授受ノ上ニ於キマシテモ不便デナイコトニナルノデアリマス、單ニ改正ヲ求メマスル點ハ、八百位ノ品位ヲ七百二十位ニ下ゲルト云フノガ、眼目デゴザイマス、御協賛ヲ願置キマス

○副議長（箕浦勝人君）　日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧

第二　右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧

○改野耕三君　本案ハ九名ノ特別委員、議長指名ヲ望ミマス

○副議長（箕浦勝人君）　改野君ノ動議、議長指名九名ノ委員、是ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ノ聲起ル〕

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナイト認メマス、其通決シマス、日程第三第四ハ同一委員ニ付託サレテアリマスカラ、委員長ヨリ併セテ報告アランコトヲ望ミマス――江原素六君

〔江原素六君登壇〕

○江原素六君　帝國大學ノ特別會計法案ト、竝ニ學校圖書館ノ特別會計法ハ二案共ニ一委員ニ託セラレテ居リマスカラ、此際兩案ヲ併セテ御報告シテ宜ウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○江原素六君　此案ハ極メテ單簡ノヤウデハゴザイマスガ、速記錄デ御承知下サル通、十分ニ先カラ先マデ及ブダケ丁寧ニ審査ヲ致シマシタ、而シテ其結果ハヤハリ兩案共ニ原案ノ通ニ可決致シマシテゴザイマス、ドウカ讀會省略デ立ロニ可決セラレコトヲ希望致シマス

○副議長（箕浦勝人君）　日程第三ヲ議題ニ致シマス

第三　帝國大學特別會計法案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

○花井卓藏君　議長

○副議長（箕浦勝人君）　花井卓藏君

〔花井卓藏君登壇〕

○花井卓藏君　諸君、本員ハ遺憾ナガラ、此案ニ對シマシテハ歡迎ヲ致サヌト云フノ意見ヲ述ベヤウト存ジマス、甚ダ御氣ノ毒ノ次第デハゴザイマスルガ、此案成立ノ曉ニ於キマシテハ、文部大臣ト云フモノハ唯虛器ヲ擁スルト云フ事柄ニ相成ルノデアリマス、即チ文部大臣ハ伴食宰相デアルト云フコトヲ、自ラ裏出セラルルトコロノ法案デアラウト私ハ考ヘルノデゴザイマス、甚ダ御氣ノ毒ニ存ジマスルカラシテ、文部省擁護ノタメニ反對ノ演說ヲセナケレバナヌノデアル、諸君ノ御同情ハ必ズヤ得ラルルデアラウ、而シテ文部大臣ハ更ニ更ニ多大ノ感謝ノ意ヲ表セラルルコトデアラウト存ジマス、此問題ニ反對ヲ致シマスルニ就イテハ、幾多ノ理由ガゴザイマスルケレドモ、多クハ申上ゲマセヌ、第一ニ私ハ本案ハ會計法ノ原理ニ反クト信スルノデアル、御承知アラセラルルガ如ク、會計法ノ第二條竝ニ第十二條ノ法規ニ反クモノデアルト私ハ信スルノデアル、一般會計ハ租稅、其他一切ノ收納ヲ歲入トシテ、而シテソレニ基イテ一切ノ經費ヲ歲出トスルノデゴザイマス、而シテ其歲出入ト云フモノハ總テヲ總豫算ニ編入シテ、國務大臣ハ自ラ所管致シマスルトコロノ事業ニ依ッテ收入シタル利益アリト雖モ、之ヲ以テ直チニ經費ニ使用スルコトノ出來ナイト云フ事柄ハ會計法ノ原則デゴザイマシテ、條文ノ上ニ明ニ揭ゲラレテアルノデアル、併ナガラ若シ特別ノ須要ガゴザイマシテ、即チ或特種ノ會計ヲ獨立セシムベキ相當ナル理由ガ存在シ、又ハ財政ノ狀態ヲ明瞭ナラシムベキ特種ノ事情ノゴザイマシタ場合ニ於テハ、唯今ノ原則ニ例外ヲ認メラレテ居ルノデゴザイマス、即チ會計法ノ第三十條ガ是デアリマス、斯樣ナ次第デゴザイマスカラシテ、本案ノ如キ會計法ノ例外規定ニ則ラントスル場合ニ於キマシテハ、先ッ此例外ノ條文ノ要求致シマスルガ如ク、帝國大學ヲ特別會計ニスルト云フニ就イテ如何ナル特別ノ須要アリヤ、如何ナル特殊ノ事情アリヤ、之ヲ獨立セシムルニ非ザレバ財政ノ狀態ト云フモノハ明瞭ヲ缺クト云フノ嫌ガアル

ト云フコトノ證明ノゴザイマセヌ以上ハ本案ハ斷ジテ會計法ノ原則ト兩立致サヌモノデアルト私ハ信ズルノデアル、文部當局者ガ委員會ニ於テ明言スルトコロヲ仔細ニ點檢致シテ見マシテモ、未ダ曾テ所謂特別ノ須要、特殊ノ事情アリト云フ所以ノモノハ毫モ證明セラレテ居ナイノデアリマス、唯ダ併ナガラ玆ニ一ツノ注意スベキ點ハ、是ガ纔デ學問獨立ノ一段階ニナルデアラウト云フノ一ノ空想デゴザイマス、吾ミノ敬愛スル合田福太郎君、松本君平君ノ質問ニ依ッテ而シテ其希望ニ依テ、言明セラレタルトコロヲ聽キマスルト云フト、之ヲ以テ學問ノ獨立ノ一段階ヲ造ラントセラルヽ趣意ニ受取ラルヽノデゴザイマス、私モ兩君ノ此說ニハ多大ノ尊敬ヲ拂フノデアル、否寧ロ贊成ヲスルノデアル、併ナガラ政府當局ハ之ヲ以テデス、之ヲ以テ學問ノ獨立ト兩立スベキモノデナイト言明シテ居ル、本案ハ大學ニ付スルニ財政獨立ノ機能ヲ授クルニ留マリ、學問ノ獨立ハ何等ノ因緣ヲ有セザルモノデアルト云フコトハ、現ニ明言ヲ致シテ居ルノデアル、ソレノミナラズ、學問ノ獨立ト特別ノ會計ト云フモノハ、性質ニ於テ兩立スベキモノデナイ、學問ノ獨立ト云フモノハ一片ノ官制ヲ改正スレバ足リルノデアル、會計ヲ獨立スルガタメニ學問ノ獨立ノ階梯ニハ決シテ相成ラヌノデアリマス、政府既ニ然リト明言シ而シテ會計法規モ亦之ヲ以テ學問獨立ノ階梯トシテ居ラヌ以上ハ、此空想ト云フモノハ本案ノ上ニ於テハ、一擲シ去ラナケレバナラヌモノデアラウト私ハ信ジマスル、是ガ私ノ第一ニ反對ヲ致シマスル理由デアリマスル、第二ニ私ノ御贊同ヲ得ラレント存ジマスルノハ、現在我政府ノ執ッテ居リマスル會計ノ狀態デアリマス、所謂一般ノ會計所謂特別ノ會計ト云フモノハ、如何樣ナル有樣ニ組立テラレテ居ルカト云フ事柄ヲ御參照ニ供セヌケレバナラヌノデアリマス、吾ミガ今日マデ現ハレテ居リマスルトコロノ實例ニ依テ見マスルト云フコト、所謂特別會計ナルモノハ作業ノ事項若クハ地域ノ關係、例ヘバ外務省ノ所管デ申シマセウナラバ專管居留地デアルトカ、或ハ內務省ノ所管デ申シマスレバ、臺灣デアルトカ、或ハ樺太デアルトカ、此ノ如キモノニ對シマシテモ、特別ノ會計ヲ認ムベキ必要ガアルデアラウト思フノデアル、理窟ノ上ニ於テハ本員モ贊成ヲ致シマセヌガ、特別ノ須要ト云フ事柄ガ、言ヒ得ラルヽデアラト思フノデアル、是ハ地域ノ關係デゴザイマス、又作業ノ關係ノ方ニ於キマシテハ例ヘバ遞信省ノ所管デ鐵道ノ作業デアルトカ、或ハ陸軍省ノ所管ニ於ケル兵器製造ノ作業デアルトカ、農商務省所管ニ於ケル製鐵所ノ作業デアルトカ云フヤウナモノハ、一般財政ノ狀態ヲ明瞭ナラシムル目的ヲ有スル所以ノ筋道ニ於キマシテ、一般會計ト別異シテ特別ニ取扱フト云フコトノ必要モアルデゴザイマセウ、併ナガラ帝國大學ト云フモノハ決シテ作業所デハナイノデアル、又地域ノ關係ニ於テ特殊ノ事情ガアルノデモナイノデアル、收入ノ上ニ於テ支出ノ上ニ於テ特別ノ會計ニシナケレバ運轉ノ出來ナイ理由ハナイノデアリマス、御承知ノ如ク帝國大學ハ甚ダ不完全デゴザイマスルケレドモ、其標榜スルトコロハ甚ダ美シイノデアル、學術ノ蘊奧ヲ究メ而シテ人材ヲ養成スル所デアルト申シテ居ルノデアリマス、學術ノ蘊奧ヲ究ムルト云フコト人材ノ養成ヲ致スト云フ事柄ハ、是ハ作業事業デアッテ所謂作業事項デハナイノデアル、何ガ故ニ——何ガ故ニ臺灣ノソレニ於ケルガ如ク專管居留地ノ、ソレニ於ケルガ如ク若クハ鐵道其他ノ作業ノソレニ於ケルガ如ク、同ジ樣ニ帝國大學ノ會計ヲ特別ニシナケレバナラヌト云フ理由ガアルノデゴザイマセウカ、大藏大臣ガ大學ノ人デアルカラシテ、此案ヲ喜ンデ迎ヘタカハ知レマセヌケレドモ、併ナガラソレデハ御手許ニ御携ヘニナッテ居ルトコロノ會計ニ關スル諸般ノ法律ガ許サヌデアラウト私ハ考ヘルノデアル、學問ノ獨立ニ因緣ガアレバ格別デアルガ、學問ノ獨立ニハ何等ノ關係ガナイ、而シテ又在來ノ特別會計ノ事例モ副ハナイ此案ガ實ハ如ト云フコトハ、私共ノ甚ダ惑フテ、惑フトコロデアリマス、是ガ私ノ第二ノ理由デアル、卽チ何ガ故ニ特別會計トシテ取扱ハレテ居ルトコロノ地域、若クハ作業ト同一ニ之ヲ見ルカ、之ヲシテ特別會計タラシメタナラバ、天下何者カ特別會計ニスベカラザルモノアラムヤト云フ疑ハ、諸君ト共ニ吾ノ是非起サナケレバナラヌ一大疑問デアルト信ズルノデアリマス、是ガ第二ノ理由デアリマス、第三ニ私ノ最モ憂フルトコロハ、特別會計ノ濫用デス、追加豫算ニ就イテハ、先般ノ議會ニ於テ餘リニ其多キニ驚イテ、委員長ヨリ致シマシテ、叱リ置ク位ノ御口上モアッタヤウニ記憶シテ居リマスガ、ソレト同ジヤウニ特別又特別、到頭歸スルトコロノナイヤウニ特別會計ト云フモノガ濫發セラルヽノデアル、明治三十九年度ニ於テ計五十七ノ多キニ及ンデ居ルノデアル、樺太ノ特別會計ヲ加ヘマスト五十八ニナル、議院終末迄ニ二ツ三ツ出タナラバ、先ヅ六十位ニハ必ズ本議會ニ於テ纏マルコトデアラウト思フ、ソレデハ特別會計デハナイノデアル、一般會計ノ範圍ト云フモノヲ侵シテ、一般會計ノ司ルベキ關係ト云フモノヲ縮メテ、甲モ乙モ丙モ丁モ、特別會計ニスルト云フヤウナ事柄ガ果シテ會計法ノ原理ニ副フト云フナラバ、何ガ故ニ會計法ヲ改正ヲシテ、特別ノ須要ナル文字ヲ削ッテ、各省獨立ニ特別會計ヲ立テナイノデゴザイマセウカ、堂々タル行政ノ主長タルベキ各省サヘモ特別會計トハナサヾルニ、ソレニ支配セラレテ居ルトコロノ小サナ機關デアル、大學モ官廳デアル、微々タル一官廳デアル、ソレヲ是非特別會計ニシナケレバナラヌト云フ事柄ハ、餘リ濫用ニ失シハシナイカ、今日迄幾多ノ特別會計ノ事項ノ中ニ於テモ一般會計ニ移スベキモノ、數ト云フモノハ、過半以上ヲ占メテ居ルデアラウト私ハ考ヘル、作業事項若クハ地域ノ關係ノナイモノハ、悉ク一般會計ニ戻スト云フ事柄ガ當然デアラウト信ジテ居ルノデアリマス、然ルニ何事ヲ既ニ多キニ倦キテ居ル今日ニ、倘更ニ一ヲ加ヘテ無用ナル特別會計法ヲ拵ヘルト云フコトニ至リマシテハ、私ハ驚カザルヲ得ヌノデアル、是モ例ノ學問獨立ノ空想デアル、學問ノ獨立ハ大切デアル、併ナガラ憲法ノ保障セル獨立ハ裁判官ニ最モ多クヲ見ルノデアル、獨立保障ノタメニ特別會計ガ入用デアレバ、何故ニ司法省所管ニ於テ裁判官ニ關スル會計ト云フモノヲ特別會計ニ致サヌノデゴザイマス、書生ガ學問ヲナス學問ノ獨立ハ大切デアル、併ナガラ國民ノ權利ヲ保護スル其人ノ獨立ヲ保タンケレバナラヌコトハ、論ヲ竢タヌ話ト思フ、裁判官ハ特別會計ノ下ニ支配セラレズトモ獨立ハ卽チ獨立タリ、大學若シ獨立ナレバ特別會計ノ均霑ニ浴セズトモ、獨立ハ獨立タリ、乃チ本來獨立ナラバ本來獨立デアル、何事ゾ金錢ノタメニ獨立ノ段階ヲ作ラントスルカ、作ラント欲スル考デアッタナラバ是レ其考ヘル者ノ妄デアル誤リデアル、實ニ無意味實ニ沒主義ナル法案ナリト私ハ此點ニ於テ斷定ヲ至スノデアリマス、是ガ私ノ第二ノ理由デアリマス、第四ニ特ニ御參考ヲ煩ハシタイハ明治二十二年ニ於キマシテ、官立學校竝ニ圖書館會計法ナル所謂特別會計ノ制ト云フモノヲ設ケラレテアルノデアル、卽チ帝國大學、及ビ各官立學校ハ盡ク特別會計ト云フ事柄ニセラレテ居ルノデアル、併ナガラ此特別會計ハ本案ノ特別會計トハ大ニ趣ヲ異ニ致シテ居ル、趣ヲ異ニシテ居ル事柄ハ唯今申上ゲマセヌ、後ニ申上ゲマスガ、兎ニ角趣ヲ異ニシテ居ル今日マデ存在致シテ居リマスル、明治二十二年ノ特別會計ニ關スル法律ニ依ッテ見マスルト、是ハ經費ノ大部分ト云フモノヲ政府ノ補給ニ依ッテ待ツト云フ規定ニナッテ居ルノデアッテ、會計獨立トカ學問獨立ト云フ趣意デハ決シテナイノデアル、ソレデアリマスカラシテ、今マデ存在致シテ居ル特別會計ノ制度サヘモ、實ハ一般會計ニ戻シマシテモヨイノデアル、卽チ歲入ノ狀態ト云フモノハ之ニ依ッテ不明ニ歸セシムル眞ハゴザイマセヌノデアリマス、加之是等ノ學校ニ於ケル俸給ニシテモ、廳務ニシテモ、旅費ニシテモ、雜給ニ致シマシテモ、雜費ニ致シマシテモ、各官廳ニ於ケルソレト何等ノ異ナル所ハナイノデアル、何レノ點ヨリ見マシテモ今日マデ存在致シテ居ル官立學校、圖書館ノ特別會計ト云フモノハ、此時機ニ於テ實ハ潰シテ一般會計ニ戻サナケレバナラヌト、吾ミハ要求セントシツヽアル曉デアルノデアル、別ミニ之

ヲデス、更ニ改正ヲシテ本案ヲ出シテ從來ヨリハ最モ多キ――多キ權力ヲ授ケ而シテ或ル意味ニ於テハ、最モ憂フベキ弊害ヲ胎サシムルトコロノ態度ヲ採ラントシテ居ルノガ、即チ本案デアル、學問ノ獨立ハ美名デアル、大學ノ看板ハ甚ダ立派デアル、併ナガラ彼ガ從來何ヲナシ、アルヤト云フコトニ、一考ヲセラレマシタナラバ、會計獨立、學問獨立ハ別問題デアルケレドモ、之ヲ同ジ問題ト致シテ攻究致シテ見テモ、多大ノ注意ヲシナケレバナラヌ感想ハ誰ニモ起ルノデアル、大學ノ學生一人ニ付イテ幾何ノ金ヲ要シテ居リマスカ、一人ニ付イテ二百圓、三百圓ト云フヤウナ割合ハ、大數ノ上ニ於テ申上ゲルコトガ出來ルノデゴザイマス、少ナクトモ二百圓、乃至五百圓以內ニ昇降致シテ居ルト云フノハ事實デアル、京都帝國大學、東京帝國大學ノ學生ト云フモノハ、一人ノ頭ノ上ニ幾何ノ金ヲ要スルカト云フコトヲ、計算致シテ見マシタナラバ、私ノ算定ハ當ラヌコトハナイノデアル、斯ノ如キ多大ノ金ヲ出シテ得タル所謂人材ト云フモノハ、ドンナモノデアルカ、氣ノ利イタ連中ガ政府委員ニナッテ、コセ〳〵スル位ノモノデアル、其他知ルベシデアル、都合ガ好クテ出精シタ所ガ阪谷君ガ大臣ニナル位デアル、是ハ餘程ノ出色ノ話デアル、ソレノミナラズ今日大學教授ノ有樣ハドウデアル、法科大學ノ教授ニシテ訴訟鑑定ヲ爲ス者アリ、會社ノ顧問タル者アリ、教授ヲ兼テ滿鐵ノ理事トナラントスル者アリ、ト云フヤウナ狀態ニナッテ居ルノデアル、我慢ガ出來レバ無理ナコトデモ法律上ノ解釋ガツクナラバ、贊成ヲシテヤリタイノデアルガ、法律上ノ解釋ガ既ニツカナイ上ニ特種ノ事情ガ、映ジナイ、ソレニ曲ゲテモ辯護シタイト思フ程ノ人ガ教鞭ヲ取ッテ居ルノデハナイ、曲ゲテモ助ケテヤリタイト云フ程ノ人材ガ出テ居ルノデハナイノデアル、卽チ情實論トシテモ殆ド之ヲ特別會計ニシテ保護スベキ所以ガゴザイマセヌカラ、明治二十三年ノ特別會計ノ法律ハ全廢シタイト信ジテ居ル、然ルニ本案ハ、ソレヨリヨリ以上ノ特別會計法案デアルカラ、尙反對シナケレバナラヌト云フノガ卽チ私ノ第四ノ理由デアリマス、第五ニ本案ニ入ッテ是非常諸君ノ御研究ヲ煩ハシタイト存ジマス、サウシテ熟心ニ諸君ノ御質問ヲ得タイト存ジマス、舊法ニ依リマスルト卽チ明治二十二年特別會計ノ規定ニ依ッテ見マスルト、年年大學ノ所要ノ支出ヲ確定ヲ致シテ置キマシテ、授業料其ノ他ノ收入ヲ計算シテ而シテ其足ラザルトコロヲ政府ノ支出ニ待ツトコロノ制度デアッタノデアリマス、所ガ本案ハ是レ一步ヲ進メテ政府ヨク年々受クベキ金額ヲ前以テ一定シテ置テ、其確定シタル所ノ收入ニ依ッテ、支出ヲシヤウトスルノガ卽チ本案ノ骨子デアルノデアリマス、此骨子トシテ改正セラレンスル所ノ理由ト云フモノハ、是ニ最モ憂フベキ弊ガ含マレテ居ルト云フコトニ、御注意ヲ願ハナケレバナラヌ、本案ハ御覽ニ相成リマスル通政府ノ支出スベキ金額ト云フモノヲ、年々東京帝國大學ニ於キマシテハ、百二十万圓京都帝國大學ニ於テハ、百万圓ニ確定シヤウトスルノデアル、前ノ特別會計ハ左樣デハナイノデアル、本案ハ之ヲ確定スルト云フ法案デアルノデアリマス、然ルニ既往ノ實績ヲ調査致シテ見マスルト東京帝國大學、竝ニ京都帝國大學ニ於ケル經常費竝ニ臨時費ト云フモノヲ合セテ、政府ノ支出金額ト云フモノヲ計算致シテ見マスルト、此案ハ特別會計ナル文字ノ中ニ隱レテ實ハ豫算ノ增額ヲ要求スル所ノ、詐欺案デアルト云フ事柄ハ斷言ガ出來ルノデアル、東京帝國大學ニ於ケル明治三十六年度ノ經費ト云フモノハ、百二十六万九千六百八十圓デアル、三十七年度ハ百八万四千九百二十二圓三十八年度ハ、百四万二千百四十四圓デアル、ソレカラ京都帝國大學ハ、三十六年度ガ七十一万三千二百九十六圓、三十七年度ガ六十九万七千八百三十八年度ハ、五十八万四千二百三十圓、斯ウ云フ計算ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ之ヲ三箇年平均デ數字ヲ取ッテ見マスルト、東京帝國大學ガ、六十六万五千餘圓、斯ウ云フ計算ニナルノデアリマス、是デ見マスルト云フト今日マデ得テ戻ル所ノ、東京帝國大學ノ百十三万圓ヲ、此法案ニ依ッテ百二十万圓トナシ、京都帝國大學ノ六十六万五千餘圓ヲ此法案ニ依ッテ、百万圓ニ一定ノモノニシヤトスルノデアル、要スルニ此差額ト云フモノヲ此法案ニ依ッテ取ラウトスル案デアリマス、私ノ見ル所ニ依レバ斯樣ニ法案ノ下ニ隱レテ其實豫算ト云フモノヲ、多ク欺キ取ラントスル如キ仕事ヲナス大學ト云フモノヤ、之ヲ庇護スル文部省ト云フヤウナモノハ、學問ノ獨立ナドヲ發言スベキ權能ト云フモノハナイト云フ事柄ガ玆ニ於テ斷言ガ出來ルノデアリマス、ソレノミナラズ、今一ツ憂フベキ點ハ特別會計ノ數ハ隨分多ウゴザイマスケレドモ、本案ノ如ク臨時費ト云フモノヲ、特別會計ノ範圍ニ包含セシメタ類例ト云フモノハ斷然ナイト信ジテ居ルノデアル、現ニ鐵道作業特別會計ト云フモノハ、鐵道作業上ヨリ生ズル收入ニノミ止メテ、其建設デアルトカ、改良デアルトカ云フモノニ要スル、經費ト云フモノハ包含セシメテ居ナイ、乃チ臨時費ト云フモノハ包含セシメテナイノデアル、又砲兵工廠デアルトカ、或ハ製鐵所デアルトカ、云フモノ、特別會計ニ於キマシテモ、其範圍ト云フモノハ作業上ノ收入ノミニ止メ置イテ、工場ノ擴張ニ要スル經費卽チ臨時費ト云フモノハ、一般會計ノ支辨ニ待ッテ居ルノデアル、斯樣ナ次第デゴザイマスノミナラズ、元來ガ臨時ノ經費ト云フモノハ年々所要額ト云フモノガ、一定シテ居ルノデアリマセヌカラシテ、全ク一時的ノモノニ係ルノデゴザイマスカラシテ、性質トシテ特別會計ニ屬セシムベキモノデハナイ、又現在總テノ狀態ノ上ニ於キマシテモ、何レノ官廳ニ於テモ、臨時費ト云フモノヲ特別會計ニ有ッテ居ル類例ト云フモノハ決シテナイト、私ハ信ズルノデアル、然ルニ何ノ必要ガアッテ帝國總テノ官廳ガ爲サザル類例ト云フモノヲ大學ノタメニ開イタノデアルカ、誠ニ私ハ惑ハザルヲ得ヌノデアル（中林友信君「去年鐵道デ開イタ」ト呼フ）鐵道ナドハ許シテヤルノデアル、是ハ許サザルヲ得ヌ、又特別ノ必要ガアルノデアル、ソレデモ本員ハ正則トハ認メナイノデアル、幾多ノ事例ニ於キマシテハ現ニ之ヲ許シタルモノハ極メテ稀レデアル、併シナガラ收支ノ尨大ナルモノニ至ッテハ――而シテ作業ノ性質ヲ有スル鐵道ノ如キモノハ、特別會計トシテ尙且嚴シキ制限ヲ設ケテ、臨時費ヲ包含セシメテ宜シイカモ知レヌ、併此案ノ如キモノニハ斷然許スベカラズト云フ論ヲ、本員ハ取ッテ居ルモノデアルガ、併シ是ハ必ズシモ定說デハナイノデアリマス、此場合ニ於テ一言シテ置クダケデアリマス、是ガ私ノ反對ヲスル第五ノ理由デゴザイマス、第六ハ多クハ申上ゲマセヌ、大學ノ事情ヲ御存ジデアルマイト思ヒマスカラ、之ヲ一言致シテ置キタイ、帝國大學ノ分科ノ實況程驚クベキ伏魔殿ハナイノデアル、驚クベキ野卑ナル場所ハナイノデアル、豫算ノ分取リト云フコトハ各官廳ノ間ニ於テノミ爭アルカノ如ク見エテ居リマスガ、其實ハ學問ノ獨立ヲ標榜スル大學位此豫算ノ分取ヲスル所ハナイノデアル、誠ニ細ナ場所デゴザイマスカラ、御承知ハゴザリマスマイケレドモ、先ヅ各分科大學ト云フモノハ群雄割據ノ有樣デ、各〻法科大學城、工科大學城、理科大學城、醫科大學城ト云フ城廓ヲ構ヘテ得タル所ノ豫算ト云フモノヲ最モ多クセシメント、互ニ競爭シツヽアル、實際ト云フモノハ殆ド目モ當テラレヌ有樣デアリマス、ソレ故ニ本鄕ニ巍々タル大學ハ建ッテアルケレドモ、各分科大學ハ互ニ教室ノ融通サイモ致サヌノデアル、理科大學ノ教室ハ法科大學ニ貸サナイノデアル、小サナ問題ニ至ッタナラバ隙燈ノ如キ、汽罐ノ如キニ至リマシテモ、之ヲ融通スルコトヲ致サナイノデゴザイマス、斯樣ナ次第デゴザイマスカラシテ、本案ノ如キモノヲ以テ此場ヲ開キマシタナラバ、依テ得タル百三十一万圓、依テ得タル百万圓ト云フモノハ、彼等ガ恣ナル分捕ヲシテ結局經理スル事柄ガ出來ズシテ、統一スル事柄ガ出來ズシテ、詰リ百三十万圓ト百万圓ハ兩者ノ大學各分科喧嘩ノ媒介トナスト云フ有樣ニ立至ルコトハ、鏡ニ掛ケテ見ルヨリモ明カナリデアル、サウ云フ次第デゴザイマスカラ私ハ事實ノ上ニ於テ此大學ト云フモノニ、多大ノ信用ガ拂ヘナイ、多大ノ信用ガ拂ヘナイノミナラズ、寧ロ憂フベキ今後益〻監

督ヲ嚴ニスベキ學校ナリト信ジテ居ルノデアル、之ニ會計ノ獨立ヲ許ス、會計ノ獨立ヲ許セバ聽ク學問ノ獨立ノ段階トナルト云フガ如キニ至ッテハ、大學ヲ知ラザルモノ、言デアル、文部大臣ハ長ク海外ニ居ラレテ今日御歸朝ニナッタト云フ次第デゴザイマスカラシテ、大學ノ事情ヲ御存ジナイノデアラウト信ジテ居ルノデアル、斯樣ナ次第デアリマスニ依ッテ本員ハ此案ヲ贊成スル事柄ガ出來ナイノデアリマス、之ガ第六ノ理由デス、之ヲ要スルニ本案ハ會計ノ上ニ於テ、文部大臣ハ大學監督ノ權能ヲ奪ハレ、而シテ大學各分科ノ分取主義ヲ奬勵シテ、サウシテ學問ノ府ヲ化シテ財利競爭ノ場ニ變ゼシムルト云フコトヲセラレル外ニ、此案ニ於テ得ル所ノモノハ少シモナイノデアル、私ノ御氣ノ毒ニ存ズルノハ、之ニ依ッテ文部大臣ハ領域ヲ侵蝕セラレルコトニナルノデアル、會計ノ權能ヲ有ッテ居レバ文部大臣デアル、大學カラ會計ノ權能ヲマルデ取ラレテ仕舞ッテ、拙者ハ文部大臣デゴザルト云ッテモ、之デハ聞イテ呆レルノデアル、若シ虛器ヲ擁シテ伴食宰相ノ裏書ヲ爲スガタメニ、此案ヲ出サレタトスレバ吾又何ヲカ言ハン、併ナガラ文部大臣ハ日本文政ノ大權ヲ握ッテ、而シテ學問ノ獨立ヲ致スト云フ考ヘヲ有ッテ眞實ニ職責ヲ完フセラレント欲スレバ、此案ニハ御反對ニナルノガ當然デアラウト思フノデアリマス、我輩ハ第一ニ會計法ノ上ニ於テ、第二ニ大學ノタメニ、第三ニ文部大臣ノ椅子擁護ノタメニ、全然本案ニ反對ヲ致スノデアル、少ナクトモ文部大臣ノ贊成ヲ得ラレルニ相違ナイト確信ヲ致シマス

（根本正君登壇）

○根本正君　諸君、此問題ハ重大ナル問題デアリマス、國家敎育ニ如何ナル關係ガアルカト云フコトニ付キマシテ、諸君ト共ニ大イニ研究シナケレバナラヌト私ハ思ヒマス、唯今花井君ガ法律案ニ反對ヲセラレマシタケレドモ、誠ニ其價値ガナイト云フコトヲ私ハ此所ニ證明シタイト思ヒマス、花井君ガ若モ此法案ニ反對ヲスルナラバ、何故ニ豫算案ノ時分ニ之ニ反對シナカッタト云フコト、卽チ此法案ヲ通過スルカ通過シナイカト云フコトハ、卽チ豫算ノ時ニ、百三十万圓ト云フモノヲ出スカ、出サナイカト云フコトデアリマス、本員ハ此豫算委員會ニ於テ卽チ文部ノコトニ關係致シマシテ、之ヲ可決スベキモノナリト云フコトヲ贊成シタモノデアリマス、（花井卓藏君「本員ハ贊成シテ居ナイ」ト呼フ）花井君ハ此敎育ノ大本ヲ知ラナイ、國家ガドノ邊ニ敎育ニ付イテ關係ヲスベキモノデアルカト云フ――全體帝國大學ト云フモノハ、獨立スベキモノデアル（花井卓藏君「ソレハ贊成ダ、特別會計トハ違フ」ト呼フ）獨立サセルナラバ卽チ其手順ト云フモノガアリマス、所謂幼稚ノ國ニ於キマシテハ一概ニ獨立スルコトハ出來ナイ、先ヅ財政ノ方面ヲ許シ、其次ニハ敎員ノ選擇ヲ許スト云フヤウナ譯ニ順序ガアリマス、第一ニ此國家ノ敎育ト云フモノハデス、卽チドノ邊ガ國家ノ敎育シナケレバナラヌカト云フコトガ大問題デアル、世界何レノ國ニ於キマシテモ國家卽チ國勢ヲ以テ敎育スルモノハ何デアルカ、卽チ國民敎育デアリマス、此國民敎育コソ吾々ノ懷ヲ放ッテ大ニ稅ヲ出シテセヌケレバナラヌ、併ナガラ高等敎育大學ト云フモノハ獨立ヲシテ行ク〱ハ私立ニセヌケレバナラヌモノデアリマス、何レノ國ニ於キマシテモ始メカラ仕舞マデ國稅ヲ以テ拂ッテ置クモノデハナイデアリマスルガ、故ニ、我日本帝國ニ於キマシテモ世ノ進歩ト共ニ他日帝國大學ハ獨リ會計ノ獨立ノミナラズ、總テノモノガ獨立セヌケレバナラヌ、今日ノ有樣デ置キマスルト、帝國大學ノ敎師ト云フモノハ如何ナル抱負ガアッテ此日本帝國ヲ稗益スルト云フコトニ於キマシテモ、之ヲ十分ニ發表スルコトガ出來ナイト云フヤウナ譯合ニナッテ居ル、卽チ今日マデノ經驗ヲ見マシテモ、或ル博士ガ大ニ理論ヲ吐イテソレガタメニ免職ニナルトカ、或ハ休職ニナルトカ云フヤウナコトガ、アリマシタガ、是ハ國家ノ不幸デアル、何トナレバ卽チ獨立セヌ所以デアリマス、故ニ大學ト云フモノハ卽チ高尙ナル學問デアッテ獨立ヲサセテ、自由自在ニ獨リ日本帝國ノ發達ノミナラズ、世界萬國ノ發達ヲ視察シテ之ヲ發表シテ、日本國ノ五千有餘万ノタメニ利益ヲナスコトヲ、センケレバナラヌ、併ナガラ今日ハ官吏ノヤウナ取扱デアル、故ニ其意見ヲ發表シタクテモ發表スルコトガ出來ナイト云フヤウナコトデアリマス、故ニ卽チ先ヅ玆ニ其一端トシテ此帝國大學ヲ追々眞ノ獨立ヲサセルタメニ、此會計ヲ獨立サセテ、ソレヨリ段々步ヲ進メテ行クト云フコトハ、最モ必要ナルコトニ私ハ信ズルノデアリマス、故ニ先ヅ之ヲ獨立サセルタメニ此會計ト云フモノヲ今日可決センケレバナラヌモノト思ヒマス、若シ左樣デアリマセヌデアリマシタナラバ、實ニ此敎育ノ大本ニ戾ッテ居ル、花井君ハ敎育ノコトハドノ邊ノ所マデ國家ガ敎育ヲセンケレバナラヌカ、ドノ邊迄放任シテ宜イカ、卽チ今例ヘバ慶應義塾ノ大學デアルトカ、早稻田ノ大學デアルトカ云フモノヲ、益々盛ンニセンケレバナラヌ、卽チ是ハ日本帝國ガ稅ヲ出シテヤラシテ置クノデハナイ、其通ニ外ノ大學モ左樣ニヤハリ自由ニシナケレバナラヌ、何時マデモ國費ヲ以テナスベキモノデハナイ、併ナガラ日本ノ如キ未ダ幼稚ト云ッテハ惡ルウゴザイマスケレドモ、四十年來ノ文明デアリマスル故ニ、大ニ帝國敎育ニモ金ヲ出サナケレバナラヌ場合デアルカラ、先ヅ今日ノトコロハ會計ノ獨立ヲサセテヤッテ置イテ、ソレヨリ段々獨立シタ以上ニハ國庫ノ補助ト云フヤウナ譯ニナルノデアリマス、其大本ト云フモノガ全ク間違ッテ居ル、何モ彼モ敎育デアルナラバ國家ノ稅ヲ以テセヌケレバナラヌヤウナ風ノ御決心デアルガ、是ハ大ニ間違ッテ居ル、卽チ國家ハ一般人民ノ幸福ニナル程度ニ於テ、其稅金ヨリ出サナケレバナラヌ、或ル程度マデハ國家ガ補助シマスルケレドモ、國家ノスベキコトハ國民敎育デアル、國民敎育コソ所謂國家ノ費用ヲ以テセンケレバナラヌ、其程度ガドウモ御辨ヘニナラヌヤウデアリマス、此司法ノコト、敎育ノコト、云フモノト、敎育ガ獨立スルナラバ司法モ獨立ヲサセナケレバナラヌト云フコトハ、間違ッテ居ル、今日此國ト云フモノハ立法ト、行政ト、司法ト云フモノデ立ッテアッテ、此國ガ立ッテ居ル、故ニ此敎育ノコトヲ獨立サセタ以上ハ司法モ亦獨立サセナケレバナラヌト云フコトデアレバ、行政モ獨立サセナケレバナラヌト云フコトニナル、ソレハ如何ニモ幼稚ナル議論デアッテ、此議場ニ於テ辯明スベキモノデハナイト思ヒマス、諸君何レノ程度ヨリ考ヘテ見テモ、此獨立ノタメニ會計法ヲ獨立サセルト云フコトハ、最モ日本ノ文明ニ適當シテ居ルモノデアリマスカラ、滿場ノ諸君ガ大ニ御贊成アランコトヲ希望致シマス

○副議長（箕浦勝人君）　採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル、同意ノ諸君ニ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○副議長（箕浦勝人君）　多數

○改野耕造君　直チニ二讀會ヲ開イテ讀會ヲ省略シテ確定アランコトヲ望ミマス

○副議長（箕浦勝人君）　改野君ノ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會省略說ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナシト認メテ其通リ決シマス――全部ヲ議題ニ供シマス――本案ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

帝國大學特別會計法案　確定議

○副議長（箕浦勝人君）　異議ナシト認メテ確定致シマス――日程第四學校及圖書館特別會計法案

第四　學校及圖書館特別會計法案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

○副議長（箕浦勝人君）　別ニ御異議ガアリマセヌカラ　採決致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナシト認メテ其通リ致シマス

○改野耕三君　是モ直チニ二讀會ヲ開イテ讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長（箕浦勝人君）　改野君ノ動議直ニ二讀會ヲ開キ讀會省略ニ御異議ガアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナシト認メテ全部議題ニ供シマス、御異議ハアリマセヌカ

學校及圖書館特別會計法案　確定議

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナシト認メテ確定致シマス、日程第五、關東都督部特別會計法案第一讀會ノ續委員長報告

第五　關東都督府特別會計法案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

○降旗元太郎君（降旗元太郎君登壇）　唯今ノ法案ハ特別委員會ニ於テ滿場一致ヲ以テ可決致シテ居リマス

○副議長（箕浦勝人君）　採決致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○改野耕三君　讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長（箕浦勝人君）　改野君ノ發議直ニ二讀會ヲ開キ讀會省略ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナシト認メテ其通リ決シマス、全部ヲ議題ニ供シマス、本案ニ御異議ハアリマセヌカ

關東都督府特別會計法案　確定議

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナシト認メテ確定ヲ報ジマス、日程第六臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

第六　臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

○西山彰君（西山彰君登壇）　臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案ノ委員會ノ經過ヲ報告致シマス、本案ハ御承知ノ通臺灣ニ是迄一ノ私立鐵工場モ何モナイノデ、他ノ官廳又ハ會社或ハ個人ニ於キマシテモ、此機械ノ製造トカ修理トカ云フコトニ付イテノ非常ニ便利ヲ缺イテ居ル、ソレデ是ニ便益ヲ與フルタメニ此法案ヲ提出シタ所以デアト云フ譯デアリマス、ソレデイロ〳〵質問應答ヲ致シマシタガ、仄ニ聞キマスルニ近頃一ノ私立鐵工場ガ計畫サレツヽアルト云フコトデゴザイマス、若シ是等ガ出來タトキニハ何カ競爭トカ云フコトニナリハセヌカト云フ質問モゴザイマシタガ、ソレハ決シテサウ云フ譯デハナイ、唯便利ヲ與フルタメノ程度ニスルノデアルカラ、決シテ競爭ニハナラヌ況ヤ土地ノ南北ニ隔ッテ居ルコトデアルカラ、今度出來ル所ハ、サウ云フ土地モ隔ッテアルノデアルカラ、競爭ニナル譯ハナイ、ト斯ウ云フコトデゴザイマシタ、ソレデイロ〳〵審議シタトコロガ、目下ノトコロデハ大ニ必要ナ案デアルト云フコトデ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ之ヲ協贊スルコトニ決シマシタ、此段御報告ヲ致シマス

○副議長（箕浦勝人君）　採決ヲ致シマス、本案ニ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナシト認メマス

○改野耕三君　直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略セラレンコトヲ希望致シマス

○副議長（箕浦勝人君）　改野君ノ直ニ二讀會ヲ開キ讀會省略ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナシト認メマス、直ニ二讀會ヲ開イテ全部ヲ議題ニ供シマス――本案ニ對シテ御異議アリマセヌカ

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案　確定議

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　異議ナシト認メテ確定致シマス、日程第七戶籍法中改正法律案第一讀會、議案朗讀

第七　戶籍法中改正法律案（小川平吉君外二名提出）　第一讀會（書記朗讀）

戶籍法中改正法律案

戶籍法中左ノ通改正ス

第百六十七條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項許否ノ裁判ニ對シテハ利害關係人ヨリ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得

第百九十七條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項許否ノ裁判ニ對シテハ利害關係人ヨリ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百條ニ左ノ一項ヲ加フ

戶主カ前二條ノ期間內ニ其屆出ヲ爲ササルトキハ許可ノ裁判ヲ受ケタル者ヨリ其屆出ヲ爲スコトヲ得

第二百九條ノ二　本法ノ規定ニ依リテ爲ス卽時抗告ニハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

附　則

本法第百六十七條第二項、第百九十七條第二項ニ依ル卽時抗告ノ期間ハ本法施行前ニ爲シタル裁判ニ對シテハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

○副議長（箕浦勝人君）　磯部四郎君（磯部四郎君登壇）

○磯部四郎君　唯今朗讀ニナリマシタ議案ノ理由ヲ極ク簡單ニ說明致シテ置キマス、元來此戶籍法ハイロ〳〵不完全ナ法律ノアル中ニモ、此戶籍法ハ最モ不完全デ、實際家ハ餘程迷惑シテ居ラレルト云フコトデゴザイマスガ、唯今朗讀ニナリマシタルガ如ク、百六十七條、百九十七條、竝ニ二百條、二百九條、及ニ百九條ノ一ト云フガ如キ修正ヲ加ヘマスレバ、ソレデ實際ノ卽チ法律機關ノ運轉ガ戶籍法ニ付イテハ、稍〻穩當ヲ得

ルト云フコトデゴザイマス、是ハ實際家カラ詳シク私ガ承ッタノデゴザイマスカラ、何トカ此儀ニ付イノハ餘リヤカマシイ問題モナイ、ツマリ實地ト法律ノ不備ヲ補フダケノ法律デゴザイマスカラ、宜シク御贊成アランコトヲ望ミマス

〔「贊成々々」ト呼フ者アリ〕

○改野耕三君　ヤハリ是ハ議長指名九名ノ委員ヲ置イテ調査ヲスルガ必要ト思ヒマス、此動議ヲ出シマス

〔「贊成々々」ト呼フ者アリ〕

○副議長（寒浦勝人君）　改野君ノ動議、議長指名ノ九名ノ委員ニ附託スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（寒浦勝人君）　御異議ナシト認メテ其通決シマス――日程第八、衆議院議員選擧法中改正法律案第一讀會、議案朗讀

第八　衆議院議員選擧法中改正法律案（島田三郎君外二名提出）

〔書記朗讀〕

衆議院議員選擧法中改正法律案

衆議院議員選擧法中左ノ通改正ス

第八條　年齡滿二十五年以上ノ帝國臣民タル男子ニシテ選擧人名簿調製ノ期日前滿一年以上其ノ選擧區內ニ住所ヲ有シ仍引續キ有スル者ハ左ノ要件ノ一ヲ具備スルトキハ選擧權ヲ有ス

一選擧人名簿調製ノ期日前滿一年以上地租二圓以上又ハ滿二年以上地租以外ノ直接國稅三圓以上若ハ地租ト其ノ他ノ直接國稅トヲ通シテ三圓以上ヲ納メ仍引續キ納ムル者

一府縣立師範學校、中學校若ハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メタル學校若ハ文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律學、政治學、理財學ヲ教授スル私立學校ノ卒業證書ヲ所持スル者

家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ハ其ノ財產ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス

一徵兵令ニ從ヒ現役ヲ終リタル者及召集ニ應シテ兵役ニ服シタル者

○副議長（寒浦勝人君）　加瀨禧逸君

〔加瀨禧逸君登壇〕

○加瀨禧逸君　諸君、私ノ如キ微力ナル者ガデス、憲政ノ基礎ト相成リマスルトコロノ選擧法ノ改正案ヲ携ヘマシテ此壇上ニ相立チマスノハ、甚ダ濫越ノ至リトハ存ジマスルガ、提出者ノ一人デゴザイマスガ故ニ、暫ク御聽取リヲ願ヒタイノデゴザイマス、元來此法案ハ御承知ノ如ク選擧權ノ擴張ヲ致シタイト云フトコロノ法案デゴザイマスレバ、今日ノ時勢ニ於キマシテ、諸君ヨリ御異存ノアルベキ道理ハアルマイト確信ヲ致シテ居リマスノデ、現行ノ選擧法ハ私ヨリモ申上ゲルマデモゴザイマセヌガ、專ラ財產ノ資格ヲ標準ト致シテ選擧權ノ規定ヲ置イテアリマスガタメニ、實ヲ申シマスレバ代表政治ト云フコトノ理論トハ一致シテ居ルマイト思フ、殊更ニ此納稅資格ヲ十圓以上ト限定シテ居リマスルガタメニ、其選擧權者ノ範域ト云フモノガ極メテ狹小デゴザイマシテ、實際ニ於テハ富豪代表ノ傾ガアルノデハアルマイカト思フ、富豪ト云フノハ或ハ當ラヌト致シマシタトコロデ、少ナクモ中產以上ノ少數代表政治ノ觀ヲ呈シテ居ルコトハ、私ハ爭ハレナイト思フノデアリマス、元來此政治上ノ地位カラ致シマシテ、帝國議會ヲ見マシタナラバ、無論是ハ國民代表ノ府ト言ハナケレバナラヌ、既ニ國民代表ノ府ト言フ以上ハ社會ノ各階級ヲ通ジマシテ、アラユル方面ノ代表者ヲ出シ、國民全般ノ思想ヲ遍ク此議會ニ表彰セシムルコトハ、私ハ此代議政體即チ代表政治ノ眞髓ヲ得タモノト確信シテ居ルノデアリマス、此意義ヲ押當テマシタナラバ、即チ此普通選擧ヲ行フベキガ、私ハ理論ト合致シ能ク選擧法ノ眞髓ヲ得タルモノト思フノデゴザイマスルガ、併ナガラ今俄ニ斯ノ如キ擴張ヲナスヤ否ヤハ、自カラ國情ノ如何ニ顧ミナケレバナリマセヌガ故ニ、私ハ最モ此普通選擧ニ近キトコロノ理想ニ近ヅキ得ベキ此提案ヲ致シタ次第デゴザイマスノデ、此改正案ノ內容ニ至リマシテハ、唯今朗讀致シマシタトコロニ依リマシテ御分リニ相成リマシテ居リマスル通、現今ノ財產資格ヲ引下ゲマシタ外ニ此智力ノ方面ト或特別ノ方面トヲ加味致シマシテ、此調和ヲ計ッタ考デゴザイマス、勿論此納稅額ヲ二圓ト云フコトニ引下ゲマシタニ付キマシテハ、各人ニ於キマシテ自カラ程度ノ問題デアリマスルガ故ニ、御意見モゴザイマセウ、ゴザイマセウケレドモ私ハ御意見モゴザイマセウ、ゴザイマセウケレドモ私ハ現今ニ於キマシテ世論多クハ此二圓位ヲ歡迎スルデアラウト云フ確信ヲ以チマシテ、此二圓ト云フ程度ヲ置キマシタノデゴザイマス、深イ理由ハゴザイマセヌ、第二ニ於キマシテ智力ノ方面ノ規定ヲ立テマシタ點ニ付キマシテハ、特ニ靜ニ御聽取ヲ願ヒタイ、今日ノ新聞ヲ拜見致シマスレバ、此納稅額ノ二圓ト云フ程度ニ付キマシテハ、諸君ノ多クハ餘リ之ヲ惡ルクハ迎ヘテハ居ラヌヤウニ私ハ見受ケテ居リマス、單リ此智力ノ方面ニ向ッテノ私ノ改正案ハ、遺憾ナガラ皆樣ノ御氣ニ逆ラッテ居ルガ如キ傾キガ見エテ居リマス、併ナガラ私ハ此點ハ諸君ニ向ッテ特ニ御注意ヲ願ヒタイノデアル、元來此選擧ノ革正ハ選擧ノ神聖ヲ保持スルト云フ上ノ考カラ致シマシタナラバ、私ハ選擧會ニ成ルベク多クノ智力ヲ充實シタイト云フ考デアル、勿論此議會ノ神聖ヲ維持スルトカ、所謂議會ノ健全ヲ欲スルトカ云フ上ニ於キマシテハ、議會ノ基礎トナルベキトコロノ議員其人ニ關係ヲ有チマスノデゴザイマスカラ、國民ヲシテ須ラク卽チ選擧人ヲシテ此議員ハ是ナリ、此議員ハ非ナリト撰擇スル智能ヲ充實セシムルコトガ土臺ニナクテハナラヌコトデアラウト考ヘル、此意味カラ致シマシテ私ハ知識ト云フ上ニ於テ定メテ國民ノ側カラ之ヲ見、選擧人ノ方面カラ觀察シマシタナラバ、自分ハ自ラ直接ニ國政ニ參與スルコトガ出來ヌノデアルガ故ニ、先ヅ此自己ノ代表者タルトコロノ議員ヲ差出シテ、己レノ胸中ニ欝勃タル思想ヲ議會ニ發表致シタイト云フ趣意ニ於テ、此代議政體ト云フモノガ施シテアリマスル以上ハ、勿論選擧人其人ノ自分ノ利害ニ關係スル問題デアリマスルカラシテ、選擧人ノ方ニ於キマシテ被選人ヲ選擇スルコトニ付テ思慮ヲ運ラスベキガ當然デゴザイマスルガ、如何セン時ニ無智ナルトコロノ選擧人敎育ニモシイトコロノ選擧人ニ至リマシテハ、或ハ權勢ノタメニ威嚇セラルル者モアリマセウ、或ハ黃金ノ捕虜トナル者モアリマセウ、少ナクトモ無思慮又ハ無分別ニ輕忽ニ選擧權ヲ害用、濫用スルト云フコトガアルデハアルマイカ、是ハ殊更ニ私ガ事例ヲ擧ゲテ申シマセヌデモ、過去ノ選擧ニ於テ實地ノ經驗ヲ嘗メラレタル諸君ノ多數ハ萬々御承知ノコトデアラウト思フノデアル、若モ是等ノ弊害ヲ矯ムルニハ、卽チ今日ノ如キ選擧人否ナ、被選人ノ眞否ヲ選擇スルトコロノ智能ノ點ニ於テ、充實シタル敎育ヲ受ケタル選擧人ヲ得マシタラバ、之ニ依ッテ自然斯ウ云フコトハ矯正セラレ、革正セラルヽコトデアラウト思フノデアル、勿論選擧人ニシテ果シテ相當ノ學問アリ、相當ノ智力ガアル以上ハ威權ノ下ニ壓セラレ、或ハ黃金ノ下ニ捕虜トナルガ如キコトナク、自分ノ信念ニ訴ヘ、自分ノ思慮ニ依ッテ判斷シテ、サウシテ已レノ適當トスルトコロノ被選人ノ方面ヲ見マシテ此人ノ平生ノ行動如何、德性ノ如何、又其智識ノ如何ヲ顧慮シテ、最モ完全ナルトコロノ代表者ヲ議院ニ送リ越スコトガ出來ルデアラウト思フノデアル、此ノ如クニシテ初メテ議會ノ神聖ト云フモノヲ保チ、議院ノ淸淨ト云フモノモ保護セラルヽデアラウト思フノデアルガ故ニ、私ハ此智力ノ方面ニ向ヒマシテ特ニ此規定ヲ擴ミマシタノデアル、

幸ニ此條項ガ諸君ノ御迎ヘニナルトコロトナリマシタナラバ、選擧ニ於テ革正ヲ期セラルルノミナラズ、或ハ之ガ直接教育奬勵ノ端緒トモ相成リハシマイカト云フ形勢ガアリマシタナラバ、私ノ望外ノ幸ヒト思フノデアル、ソレカラ第三ニ至リマシテ、徴兵令ニ從ヒ現役ヲ終リタルモノ及召集ニ應ジテ兵役ニ服シタルモノト云フコトヲ第二項ニ加ヘマシタノハ、之ハ私ハヤハリ此兵役ノ義務ヲ何モ納稅ノ義務ヨリ下ニ置クベキ理由ハナカラウト云フ信念カラ出タノニ外ナラヌノデ、申上ゲルマデモゴザイマセヌガ、此兵役ノ義務ハ卽チ血稅トモ唱ヘテ居リマスル位デゴザイマスレバ、何モ財產稅ノ下ニ立ツベキ謂ハレハアルマイト思フノデアル、殊ニ苦痛ト勤勞ノ程度カラ比較シマシタナラバ、決シテ財產稅ヲ納メテ居ル者トハ同一ノモノデアルマイト思フ、一方ハ身命ヲ捧ゲテ國ニ奉仕スルノデアル、然ルニ僅ニ三圓バカリノ端タ金ヲ納メル者ヨリ國家ガ之ニ對スル待遇ノ薄イト云フハ、甚ダ解シ得ベカラザルモノデアラウト思フ、特ニ日露戰爭ノ如キ場合ニ於キマシテハ、幸ニ我國ハ連勝ヲ占メマシテ、サウシテ皇威ハ愈〻揚リ、國勢ハ愈〻振フニ至リマシタノハ、私ハ上御一人ノ御稜威ニ依ルト云フコトハ申迄モナイガ、サウシテ之ハ國民一致ノ後援ニ依ルトハ言ヒナガラ、直接戰鬪行爲ニ參加シタルトコロノ軍人ノ武功ガ最モ其多クヲ占ムルコトハ申迄モアルマイト云フノデアル、此時ニ方リマシテ選擧法ヲ改正シテ身命ヲ捧ゲマデ國ニ奉仕セント盡シ、且兵役ノ苦痛ヲ自ラ負ヒ來ッタ者ニ參政ノ權利ヲ與フルト云フコトハ、兵士ヲ待ツニ適當ナル方法ナルノミナラズ、之ヲ戰勝第一ノ紀念トシテ永ク史上ニ光ヲ放ッ所以デモアラウカト思ヒマスカラ、特ニ之ヲ揭ゲタノデアル、是ニ於テ私ハ一言附加ヘテ置キタイコトガアリマス、或ハ此提案ノ外ニ走ルカト云フ御叱リガアルカモ存ジマセヌケレドモ、今日ノ狀勢ニ付キマシテ默シテ止ムベカラザルモノガゴザイマスルガ故ニ暫ク御忍ビヲ願ヒタイ、或ハ斯ウ云フコトヲ仰セラルヽ方ガアルカモ存ジマセヌ、現行ノ選擧法ハ施行ノ日ハ未ダ甚ダ深カラズ、弊害ノ歷然タルモノヲ特ニ認ムルコトガ出來ヌ、今ニ於テ改正スル必要ハナカラウ、斯ウ云フコトガ若シアリマシタナラバ、私ハ甚ダ愚ナル說トシテ之ヲ攻擊セネバナラヌ、諸君試ニ現今ノ政況ヲ見給ヘ、如何ナル現象ヲ呈シツヽゴザイマセウカ、殊ニ遺憾ナガラ此議院ニ涉ルトコロノ潮流ハ如何デゴザイマセウ、澄ンデ居リマセウカ、濁ッテ居リマセウカ、私ハ特ニ諸君ノ御判斷ニ任セテ敢テ此處ニハ申上ゲマセヌガ、國民ノ聲ハ此議會ニ對シテ如何ナル反響ヲ齎ラシ來ルデアリマセウカ、平時吾ミノ耳朶ニ通スルトコロノ報道ハ如何ナルコトヲ齎ラシ來ルデゴザイマセウカ、殘念ナガラ耳貧キ快報ハ吾ミニ響キダモ與ヘテ居ラヌト思フノデアル、國民ノ多數ハ言フデゴザイマセウ、現今ノ議員ハ私利ニ狂奔ヲシテ居ル、議會ハ惰眠ヲ貪ッテ居ル、憲政モ何ノ恃ムトコロカアラントニ云フ話、甚シキニ至リマシテハ過日私ハ直接耳ニ致シマシタガ、形ノ上ノ帝國議會ハ日比谷原頭ニゴザイマセウガ、實質ニ於テ帝國議會ハ何レニアルカトマデ尋ネラレタデハゴザイマセヌカ、之ハ世ノ潮流ノ然ラシムルトコロトハ申シナガラ、結局所謂此選擧法制度ノ上ニハ幾分ノ關係ヲ以テ來ルノデ、選擧ニ於テ十分革正ヲ期スルトコロノ方法ヲ採ッテ居ラヌカラデアラウト思フノデアル、私ハ勿論此議員ハ國政ニ參與致シ、國事ニ盡瘁スルノガ其職分デゴザイマスルガ故ニ、國民ノ非難ヲ受クベキガ如キ果シテ國民ノ委託ニ背キツヽアル議員ガ多數ナリトハ申シマセヌ、否ナ一人モナカランコトヲ望ム者デハゴザイマスルガ、併ナガラ既ニ此ノ如キコロノ風評ガアリ、卽チ煙ノ揚ル所必シモ火ノ氣アリデ、幾分國民ノ不審ヲ拂フベキ原因ナクンバアルマイト思フノデアル、此ノ如キ不審ヲ來シマシタトキニハ於テ諸君ハ唯國民ノ言フガ儘ニ任セヤウ、吾敢テ之ヲ知ラズ、敢テ革正ヲ期スルヲ要セズシテ澄シテ居ルノデアリマセウカ、私ハ斯ノ如キ不信ノコトヲ耳ニスルヤメニ、茲ニ於テカ帝國議會ノ革正ヲ期スルトコロノ方法ヲ講ゼナケレバナラヌト微力ナガラ常ニ忘レヌノデアリマス、此場合ニ於テ常ニ私ハ如何ナル方法ヲ採ルカ、或ハ諸君中ドンナ方法ヲ採ッテモ仕方ガナイデアラウ、議員ガ腐サラウガ議會ガ濁ラウガ、ソレハ選擧ノ初ニ於テ國民ガ惡イノデアルカラ、先ヅ國民ニ向ッテ敎育ヲ施スコトハ先キニセヨト云ヒマスレバソレマデデアル、併ナガラ國民ノ敎育ハ一朝ニシテ期スベカラザルコトデアルカラシテ、此敎育ノ完成ヲ待ツニ先立ッテ議會ノ空氣ヲ新シク清メル方法ヲ採ルト云フコトハ私ハ先ヅ以テ急務ト思ヒマス、其一ツハ卽チ選擧法ノ改正デ、選擧法ノ改正特ニ選擧權ノ擴張ヲ要スルノデアル、若夫レ選擧權ノ範圍ガ狹ク選擧人ノ數ガ少ナクアリマスレバ或ハ買收モ行ハレマセウ、或ハ個々ニ付イテ誘惑モ行ハレマセウ、其結果忌ムベキ橫暴賤劣ノ手段モ共同ニ加ハルノデアルカラ、遂ニ細民ノ意思ヲ左右スルコトハ先キニ申上ゲタ通デアル、然ルニ今此法案ノ如ク總テ選擧者ノ數ヲ多數ニ涉ラシメマスレバ、此ノ如キ事ハ事實ニ於テ不可能ヲ致スト思ヒマス、故ニ私ハ此財產ト智力ト特別義務ノ方面カラシテ之ヲ見立テ、成ルベク選擧人ヲ多クシタイ、卽チ普通選擧ニヨリ近キ直ニ選擧權ヲ推擴メタイト云フ趣意ヨリ、此案ヲ提出シタノデアル、選擧法改正程度ノ上ニコソアレ、兎ニ角世論ノ向フ所、諸君ノ意思モ擴張ノ旨意ニ御異存ガナイトアル以上ハ、願クハ一步ヲ進メテ普通選擧ノ理想ニ近ヅキタル此提案ヲ御迎ヘ下サルコトヲ希望致シマス

○久保伊一郎君　加瀨君ニ質問ヲシタイ、今ノ御演說中ニ日比谷原頭ニ議會ハ形ハアルケレドモ、其實ガナイヤウナ演說デアリマシタガ……

○加瀨禧逸君　國民ノ風評、國民ノ評デス

○久保伊一郎君　國民ノ評カハ知ラヌガ、果シテサウ云フコトヲ君ガ耳ニセラレテ過日來ヨリ、此議席ニ君ガ列セラレテ、是ハ議會ガナイト認メラレテ居ルノデスカ

○加瀨禧逸君　イヤ議會ガナイトハ認メマセヌ

○久保伊一郎君　此神聖ナル議會ニ於テ斯ヤウナル演說ニナル以上ハ……

○加瀨禧逸君　宜シイ、御答シマス、私ハ現時ノ政界ニ對スル國民ノ評ガ斯クアルノデアル、諸君ハ過チガナイノデアラウガ、自ラ省ミテ成ルベク此議會ヲ淸クシテ貰ヒタイ、吾ミニ於テ一人デモ左樣ナモノガナイト確信シテ居ルガ、國民カラ斯ヤウナ批難ヲ受ケル場合ニ於テハ、謹シデ過ナキ上ニモ尙愼メヨト云フ敎ヲ垂レル積リデアル

〔「必要ナシ」ト呼フ者アリ〕

○改野耕三君　本案ハ重要ナ議案デアリマスカラ、委員ヲ十八名トシテ議長ノ指名ヲ請ヒマス

○副議長（箕浦勝人君）　改野君ノ意見委員十八名トシテ、議長ノ指名ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ガナケレバ其通リニ致シマス、此場合委員長山根正次君ヨリ萬國衞生會議ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○谷澤龍藏君　チョット大藏大臣ガ唯今出ラレテ居ルカラ、此決算ノコトニ付イテ質問シタイ、決算委員ハ決算ノ報告ガアルト云フコトデ準備ヲシテ待ッテ居リマスガ未ダ報告ガゴザイマセヌ、是ニハ定メテ內情ガアラウト思ヒマス、過日來御催促ヲ申シテ居マスガマダ出マセヌ、併ナガラ何カ裁可ヲ受ケルトカ、或ハ法制局ニ尋ネルトカ云フコトモアルカモ知レマセヌガ、豫算ト同一ニ成ルベク出スコトニシテ貰フコトニシタイ、豫算ニ付イテモ參考トスルコトモアラウト思フ、然ルニ斯ノ如ク遲延スルハ如何ナル事實デアルカ、ドウカ速ニ出サレルヤウニ致シタイト思ヒマス、大藏大臣ガ幸ヒ出テ居ラレルガドウ云フ事

實デ此ノ如ク長引クノデアルカ、又稼算ト同一ニ出ス積リデアレバ御裁可ヲ受ルモ早ク出テ來テ居ル筈デアルガ、ドウ云フ譯デアルカ御尋シタイ、又成ルベク早ク出シテ貰ヒタイ

〔大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇〕

○大藏大臣（法學博士阪谷芳郎君）　決算委員長ノ御尋ニ就テ御答致シマス、決算ハ政府ニ於キマシテハ成ルベク速ニ提出致シマスル考デ居リマス、ソレ〳〵參考書ヲ附ケマシテ御裁可ヲ仰ガナケレバナリマセヌ、參考書ヲ今取揃ヘテ居リマス、一箇所バカリ未ダ到著セヌモノガアリマス、不日成ルベク取急イデ出スコトニ致シマス

○谷澤龍藏君　成ルベク早ク願ヒタイ

○副議長（箕浦勝人君）　日程第九、鹽專賣法廢止法律案、第一讀會議案朗讀

第九　鹽專賣法廢止法律案（早速整爾君外二名提出）　第一讀會

〔書記朗讀〕

鹽專賣法廢止法律案

鹽專賣法ハ之ヲ廢止ス

附　則

本法ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔早速整爾君登壇〕

○早速整爾君　諸君、私ハ此鹽專賣法廢止法律案ヲ提出致シマシタニ付キマシテハ、大略其提出ノ理由ヲ陳述致シタイト考ヘマス、戰時ニ當リマシテ匆卒急遽ノ間ニ採用セラレテアル、非常特別稅ノ中ニハ固ヨリ幾多ノ惡稅カ存在シテ居ルノデゴザイマスルガ、此鹽專賣法ノ如キハ惡稅中ノ最モ大ナル惡稅デアルト私ハ考ヘテ居リマス、元來政府ガ專賣法ナドト云フモノヲ行ウテ賤買貴賣鐳鉄相爭フガ如キ態度ヲ執リマスルノハ、是ハ實ニ此國家ノ本能ヲ賊スルノ甚シキモノデアルト思フ、鹽ノ專賣ニ依リマシテ營利的ノ事業ヲ營ム、之ガ抑〻國家ノ業デアリマセウカ、露西亞ノ如キ國ナラバ卒ザ知ラズ、我光榮アル帝國ニ於キマシテハ此ノ如キ蠻法ヲ維持スルト云フコトハ、實ニ國家ノ恥辱デアラウト本員ハ考ヘルノデアリマス、國家ノ目的ハ宏遠デアル、偉大デアル、而モ國民ノ健全ナル發達ヲ圖ルト云フコトハ其重ナル目的デアラネバナラヌデ、然ルニ此專賣法ハ人世ノ必要品ニ對シテ重キ負擔ヲ歸セシメ、即チ一種ノ生活稅トナッテ、全體ノ國民ヲ苦メ國民ノ生產力ヲ萎縮セシメテ、國民ノ健全ナル發達ヲ害スルコトノ甚シキモノデアル、諸君、鹽ハ人世ノ必需ノ品デゴザイマス、固ヨリ他ノ奢侈品若クハ嗜好品トハ同一ノ論デハナイデ、然ルニ專賣法ハ此人世ノ必需ノ品ニ對シテ經濟的價格ノ二倍ニモ相當スルト云フ從價ノ負擔ヲ歸セシメテ居ル、即チ一種ノ生活稅デアルト唱ヘル所以デゴザイマス、而モ此不當ナル過重ナル租稅ハ帝國人口ノ最大部分ヲ占ムルトコロノ下級細民ノ、負擔ニ歸スル所ガ最モ多ウゴザイマス、直接ニ此細民ヲシテ生活ノ上ニ最モ大ナル苦痛ヲ感ゼシメテ居ルノデアル、申スマデモナク勞役ニ從フ者ノ如キハ、ヨク多クノ鹽分ヲ食用スルノ必要ガゴザイマスコトハ、是ハ生理上ノ原則デゴザイマス、ソレデアルカラ細民ハ其必須ノ運命トシテ、最モ多量ノ鹽ヲ要スルノデゴザイマス、即チ或ル意味ニ於キマシテハ、此鹽專賣ハ細民稅トモ謂フベキ實ニ劣惡ナル人頭稅デアルト私ハ考ヘル、私ハ此課稅ヲ以テ實ニ人道ニ反スルノ甚シキ者デアルト謂ハナケレバナラヌ、我日本ノ國家ト致シマシテ人道ニ反スルガ如キ課稅ヲナスト云フガ如キ甘ンズルコトガ、果シテ出來ルデゴザイマセウカ、試ミニ此鹽ノ價ヲ取調ベテ見マスニ、小賣ノ直段ガ明治三十五年ニハ、全國ノ平均デ一升當リガ三錢、三十六年、三十七年ニハ三錢三厘デゴザイマシタガ、專賣法實施ノ際即チ三十八年六月ニ至リマシテハ、一躍シテ七錢七厘ト云フ價トナッタ、其後ハ八錢、九錢、十錢以上ニ上ッタコトモゴザイマスガ、今日デハ八錢九錢ノ價ヲ保チ居ル、諸君專賣法實施前ニ比較致シマスレバ、三倍ノ騰貴デアル此三倍ノ騰貴ハ固ヨリ經濟上ノ自然ノ結果ニ出タモノデナイノデ、即チ此劣惡ナル課稅政策ノ結果デゴザイマス、不條理ナル、不自然ナル、壓迫的方略カラ來タトコロノ結果ト申サネバナラヌノデアル、細民ノ苦痛ガ最モ甚シイト云フコトハ、是ハ誰デモ之ヲ認メルコトガ出來マスガ、此點ニ付イテハ政府ノ方デモ亦能ク之ヲ認メテ居ラル、阪谷大藏大臣ガ昨年鹽務局長ニ訓令サレタ言葉ノ中ニ、鹽價ノ騰貴ハ細民ノ最モ苦痛トスル所ナリ、斯ウ云フ言葉ガアッタ、即チ此大藏大臣ノ言葉ハ政府ノ眞心カラ出デタトコロノ聲デアルト申サネバナラヌ、諸君、斯樣ニシテ下級ノ細民ヲ苦シメ細民ニ大打擊ヲ與ヘテ、果シテ此國民ノ健全ナル發達ヲ計ルコトガ出來ルデゴザイマセウカ、一方ニハ之ガタメニ勞役ノ上ニ打擊ヲ與ヘ、或ハ勞銀ノ騰貴ヲ招キ、殖產工業ノ發達ヲ阻害スルコトガ甚シイ、且鹽ヲ使用致ス必要ノアル幾多ノ生產業、此生產業ニ對シテ非常ナル困難ヲ感ゼシメテ居ルノデゴザイマス、現ニ水產製造業ニ對シテ其他科學工業ノ上ニ大ナル打擊ヲ加ヘツヽアル如キハ、殊更喋々スルマデモナイノデゴザイマス、結局國家トシテモ此生產業ニ對スル打擊ノタメニ國家自ラ非常ナル損失ヲ招キツヽアルノデゴザイマス、斯ノ如キハ實ニ此國家ノ進運ヲ害スルノ甚シキモノト言ハナケレバナラヌ、私ハ一方ニ於テ人道ニ反スルト同時ニ、國家ノ進運ヲ害スルノ甚シキ惡制度デアルト斷言ヲ致スノデゴザイマス、政府ハ此鹽ノ專賣法ニ據リマシテ一般ノ鹽業ヲ保護スルト云フコトヲ口ニシテ居ル、即チ外國ノ鹽ノ競爭ニ對スルニハ此專賣法ニ據ルニ若クハナシト云フ口吻ヲ漏ラシテ居ルノデアリマス、全體ノ國民ヲ苦メテ鹽業者ヲ保護スルモアッタモノデナイ、五千万ノ人民ヲ苦メテ、而シテ鹽業ノ保護ヲスルト云フコトハ、本念輕重ヲ轉倒スルノ甚シキモノデハゴザイマセヌカ、專賣法ニ據ッテモ鹽業ヲ保護スル途ト云フモノハ、之ヲ發見スルコトガ出來ナイモノデハナイ、當局者ガ少シ眞面目ニ研究シタナラバ相當ノ方法ヲ立テルト云フコトハ行ハレ難キコトデハゴザイマセヌ、況ヤ此專賣法ト云フモノハ實際ニ於キマシテハ此鹽業者サヘモ苦メ、即チ製鹽ノ制限等ノタメニ今日デハ鹽業者ガ非常ナ苦痛ヲ感ジテ居ル、鹽業保護ノ目的ト云フモノハ全ク之ヲ達スルコトガ出來ナクナッテ居ルデゴザイマセウカ、ソレカラ品質ノ改良ト云フコトモ專賣法ノ目的ノ一部ニナッテ居ルノデゴザイマスガ、鹽ノ價ガ騰貴シタタメニ一般ノ需要ト云フモノガ、益〻劣等品ニ移ッタノデ全然此品質改良ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナクナッタノハ、明白ナル事實デゴザイマス、諸君斯ノ如キ愚ナル制度ニ依リマシテ抑〻國庫ノ得ル所果シテ幾何デゴザイマス、徵收スルトコロノ多クハ專賣ノ經費トシテ支出致シ殘ルトコロハ誠ニ僅々タルモノニ止マル、四十年度ノ豫算ニ依リマシテモ專賣收入二千七百六十餘万ト云フモノニナッテ居ル、併シ專賣ニ費ストコロノ金額ト云フモノハ、其過半即チ一千四五百万ガ專賣ノ經費ニ屬シテ居ル、外ニ臨時ノ費用モ要求ニナッテ居ルケレドモ、兎ニ角能ク積ッテ見タトコロガ、鹽專賣ノタメニ國家ガ得ル所ト云フモノハ、僅ニ一千二三百万圓ノ金ニ止マルノデアル、五千万ノ國民ニ對シテ非常ナル苦痛ヲ與ヘ、殊ニ此細民下級ノ細民ニ多大ノ困難ヲ感ゼシメ、一方ニ生產業ノ發達ヲ沮害シ、其代價ガ一千二三百万圓是ハ果シテ何タル愚ナル事柄デゴザイマセウカ、惡制度ト申シマシテモ殆ド之ニ若クモノハナイト本員ハ信ズルノデゴザイマス、斯樣ナル惡制度ハ殆ド世界ニ比類ガ少ナイ、中ニハナニ此鹽ノ收入ヲ以テ國庫ノ財源ニスルノハ世界各國ニ其例ガ多イナド、云フ說ガゴザイマスケレドモ、併ナガラ今日ニ於テ專賣法ヲ行ッテ居ル國ハ歐羅巴デ墺太利、伊太利、土耳古、希臘ノ四箇國ニ過ギナイ、而モ其中デ墺太利及伊太利ノ如キハ實ニ遺傳的沿革トモ申スベキ、舊來カライキナリ行ハレテ居ルノデアリマシテ、當代ニ於テ新タニ採用シタモノトハ種類ガ違ッテ居ル、英吉利ノ如キハ滷石鹽ニ

對シテ無稅ノ制度ヲ取ッテ居ル、又北米合衆國、露西亞、丁抹、瑞典、諾威ノ如キハ唯外國カラ這入ッテ來ル鹽ニ對シテ輸入稅ヲ課スルノミデゴザイマス、決シテ內地ニ於テ鹽ニ向ッテ租稅ヲ課シテ居ラヌ、其他獨逸、佛蘭西ノ如キモ鹽ノ消費稅ト云フモノハ若干ヲ課シテ居リマスケレドモ、決シテ專賣法ノ如キ惡制度ト云フモノハ之ヲ採用致シテ居ラナイノデゴザイマス、之ヲ要スルニ此劣惡ナル人頭稅トモ申スベキ鹽專賣ハ斷ジテ之ヲ廢止ニシナケレバナラヌ、國家トシテ一日モ速ニ此惡制度ヲ撤廢ヲシナケレバナラヌモノデゴザイマスカラ、私共ハ此處ニ本案ヲ提出致シマシテ、諸君ノ御贊成ヲ求ムル所以デゴザイマス

（大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇）

○大藏大臣（法學博士阪谷芳郎君）　此鹽ノ專賣法廢止ト云フ御議論ガ出マシタ以上ハ、此際政府ガ專賣實施以來、多少經驗致シマシタコトヲ御耳ニ入レテ置ク云フコト、竝ニ政府ノ意見ヲ附加ヘテ置クト云フコトハ相當ノ順序デアラウト考ヘマス、此鹽ノ專賣法ノ實施以來、成程唯今早速君ノ御述ベニナリマシタヤウナ苦情ハ段々政府モ耳ニ致シテ大ニ心配ヲ致シマシタノデゴザイマスルガ、サリナガラ其良キ方ノ側ヲ又御覽ニナリマスレバ、此專賣法ヲ容易ニイジクルト云フコトハ經濟上重大ナ關係ガゴザリマスノデ、今日一番廉ク鹽ヲ供給スルノ方法ハ、臺灣ノ鹽ト關東洲ノ鹽ヲ利用致シマスルノガ、一番便利デゴザイマスノデ、又一番廉ク得ラレルノデゴザイマスルガ、サウ相成リマスレバ諸リ政府ハ專賣ヲ止メテ、消費稅ヲ課スルト云フコトニナレバ、稅ノ率ハ同ジ率デナケレバナラヌカラシテ、臺灣ノ鹽ト關東洲ノ鹽ト云フモノハ一般ニ需要セラレテ、內地ノ鹽田ト云フモノハ到底維持ガ困難ニナッテ來マス、政府ガ鹽田ヲ專賣ニ致シマシテカラ、全國ヲ通ジテ段々取調ベテ見マスルト云フト、或部分ニハ日本ノ製鹽業ハ隨分進ンダ所モゴザイマスガ、又或部分ニハ極メテ幼稚ナノガゴザイマス、又舊藩ノ制度ノタメニ無理ニ鹽ヲ今日造ッテ居ッタト云フヤウナ場所モゴザイマス、ソレ故ニ政府ニ於キマシテハ非常ニ此經濟ノ道理ニ反シテ、無理ナル鹽ノ造リ方ヲシテ居ル地方ハ漸次之ヲ整理シツヽアリマス、卽チ少數ノ極ク不利益ナル鹽田ヲ持ッタ部分ハ、多少段々ト鹽田ヲ廢止スルト云フコトハ是ハ已ムヲ得ヌデアラウト考ヘマス、併ナガラ大部分生產費ノ廉イ鹽田ハ成ルベク之ヲ保存セシムルト云フ手段ヲ政府ハ執リツヽアリマスルノデス、併ナガラ此場合特ニ御注意致シテ置カナケレバナラヌノハ、此煙草ノ專賣ノ場合ニ、若シ煙草ヲ造ルコトガ不利益デアレバ、農民ハ他ノ耕作物ヲ作リ得ルコトガ出來ルノデゴザイマスガ、鹽田ト云フモノハ之ヲ若シ鹽ヲ造ラヌ場合ニハ、外ノ作物ヲ直チニ作ルト云フコトハムヅカシイ、マルデ鹽田ノ構造ヲ變ヘテシマハナケレバナラヌコトニナリマスノデ、ソレデゴザイマスカラシテ政府ガ鹽田ヲ整理致スニ付イテモ非常ナ急激ナコトハ出來マセヌ、成ルベク急激ヲセズニ段々ト極メテ不利益ナル地方ノ鹽田ヲ止メテ、便利ナル地方ノ鹽田ニ合併スルト云フコトノ方針ヲ取ッテ居ル、又俵造リデアルトカ、製鹽ノ方法ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ一々此所デ申上ゲル限リデハゴザイマセヌケレドモガ、段々改良ヲ見ツヽアリマスノデス、是等ノコトモ之ヲ一定ニ致シマスレバコツ出來ルコトガ多イノデ、今日マデノヤウニ非常ニ多數ノ製鹽者ガ區々ニ分レテ居ッテハ隨分ムツカシイコトデアラウト思フ、今日ノ結果カラ見マスルト云フト、大キナ鹽田ヲ持ッタ部分ノ持主、竝ニ小作人ト云フモノハ非常ナ安心ナ地位ニ立ッテ居リマス、如何トナレバ政府ガ一定ノ相場ヲ極メテ之ヲ現金ヲ直チニ仕拂フト云フコトニナッテ居ルモノデアルカラ、鹽田ト云フモノハ非常ナ安心ナ今デハ產業ニナッテ居リマス、唯茲ニ多少苦情ノゴザイマスルノハ、此鹽ノ賠償價格ヲ定ムルニ付イテ餘程困難ガゴザイマス、大藏省鹽務局ノ官吏ノ見マストコロト、又地方ノ製鹽者ノ見ルトコロト往々見解ヲ異ニスル、是ハ大藏省ノ側ニ於キマシテハ成ルベク廉ク買ッテ廉ク賣リタイト云フ考ヲ持ッテ居ル、又製鹽者ノ方デハ成ルベク高ク賣リタイト云フ考ヲ持ッテ居ルカラ、ドウモ是ハドウシテモ衝突ヲ免レマセヌ、併ナガラ是モ近來段々事情ガ疏通シテ參リマシテ、唯今多少苦情ヲ開キマスアリマスルガ、先ヅ大體ニ於テハ賠償ノ價格ヲ極メルト云フコトノ意思疏通モ段々付キマシ、アルト云フヤウナ場合デゴザイマス、サウ云フコトニナッテ居リマスカラ、今回此鹽ノ專賣制度ヲ解クト云フコトハ、日本ノ製鹽業ニ非常ナ危險ナコトニナッテ居ル、是ハ若シ製鹽業ヲイキナリニシテ轉ハスト云フ所謂極ク純粹ノ經濟論カラ往ッテドウナッテモ宜イデハナイカ、天地自然ニ任シテ置ケト云フ論カラスレバ是ハ最早何事モ言フコトハ出來マセヌガ、併ナガラ此鹽ト云フモノハ必要品デ、悉ク之ヲ海外カラ仰グトカ、或ハ臺灣、關東洲ノ如キ海ヲ以テ隔ッテ居ル部分カラ仰グトノミモイケナイ、ドウシテモ內地ニ於テモ始終多少ノ供給ノ出來ルト云フ餘地ハ國家ノ生存上ニ於テ持タナケレバナラヌトスルナラバ、之ヲ荒廢ニ委シテ、如何ニ衰微シテモ構ハヌト云フ議論ニハナラヌ、多少保護ヲシナケレバナラヌコトニナラウト思ヒマス、サウ云フ次第デゴザイマスカラシテ、鹽ノ專賣制度ヲ今日廢スルト云フコトハ餘程ノ考モノデ、政府ニ於テモ調查會ニ於テ十分愼重ニ調查致シテ居リマスルガ、之ヲ廢スルト云フコトハ餘程結果ガ宜シクアルマイト云フ今考ヲ持ッテ居リマスノミナラズ鹽ノ專賣カラ得テ居ル千二百万圓ノ收入ヲ、之ヲ他ノ負擔ニ移スト云フコトハ是ハ餘程ムヅカシイコトデ、卽チ地租トカ、所得稅トカ、營業稅トカ總テ鹽ノ收入ヲ以テ止メレバ之ヲ他ノ負擔ニ移スコトハ、ヤハリムヅカシイ問題ニナラウト考ヘマスノデ、政府ニ於キマシテハ此廢止案ノ成立セザランコトヲ希望シテ置キマスル、固ヨリ調查會ニ於テ十分調查スルト云フコトハ、政府ハ責任ヲ取ルコトハ勿論デゴザイマス、之ヲ廢止スルコトハ此際否決ニナランコトヲ希望致シマス

○改野耕三君　十八名ノ委員ヲシテ調查セシメタイト思ヒマスカラ、議長ノ指名ヲ請ヒマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○副議長（箕浦勝人君）　本案ニハ通告ガアリマスケレドモ、唯今委員說ガ出マシタカラ、討論終結ニ致シマス、改野君ノ動議議長指名十八名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナキモノト認メテ其通決シマス、日程第十、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案第一讀會、議案ノ朗讀

第十　裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案（西村丹治郎君外二名提出）　第一讀會

（書記朗讀）

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

明治二十三年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中岡山地方裁判所管內玉島區裁判所管轄備中國吉備郡水內村及下倉村ヲ同地方裁判所管內高梁區裁判所ノ管轄ニ變更ス

附　則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前玉島區裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ同區裁判所之ヲ裁判ス

○西村丹治郎君　議長

○副議長（箕浦勝人君）　西村丹治郎君

（西村丹治郎君登壇）

○西村丹治郎君　本案提出ノ理由ヲ簡單ニ述ベマス、實ハ唯今朗讀サレマシタル如ク、本案ハ實ニ些々タル問題デゴザイマス、斯ル些々タル問題ヲ以テ諸君ヲ煩ハスト云フコトハ、誠ニ恐縮ノ至リニ堪ヘマセヌ、ソレニモ拘ハラズ進ンデ本案ヲ提出シマスルト云フノハ、萬已ムヲ得ナイ事情忍ビ難キ事情ガ其間ニ存在シテ居ルト云フコトヲ、御諒察ヲ

願ヒタイ、デ提出ノ理由ハ、此理由書ニモ書イテアル如ク、至極簡單デゴザイマス、唯交通上ノ關係ヨリ申シマシテモ、又取引上ノ關係ヨリ申シマシテモ、地勢上ノ關係ヨリ申シマシテモ、斯ク變更スルノヲ最モ便利ト認メタ所以デアリマスル、而シテ此際一言ヲ附加ヘテ置キタイノハ、斯ル問題ハ地方的ノ爭デアルトカ、或ハ黨派ノ爭デアルトカ云フコトガ、世間往々例ノアルコトデアリマス、併ナガラ本案ニ付キマシテハ、岡山縣選出ノ議員、政黨、政派ノ異同ヲ問ハズ、總テ贊成シテ居ルコトデゴザリマスカラ、斯ル弊害ハ毫モ其間ニ存在シテ居ラナイト云フコトハ御了解ヲ願ヒタイ、又政府ニ於テモ本案ニ對シテハ贊成ヲ表サレテ居ルコトデゴザイマスカラ、ドウカ御審議ノ上御贊成アランコトヲ切ニ希望致シマス

○改野耕三君　是モ議長指名九名ノ委員ニ付託シタイト思ヒマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○副議長（箕浦勝人君）　改野君ノ議長指名九名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ、御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナシト認メテ其通決シマス――日程第十一萬國博覽會開設ニ關スル建議案、委員長報告――森本駿君

第十一　萬國博覽會開設ニ關スル建議案（森本駿君外一名提出）（委員長報告）

（森本駿君登壇）

○森本駿君　諸君、此萬國博覽會、開設ニ關スル建議案ハ、本日委員長、理事共ニ不在ニ付キマシテ、委員ノ一人トシテ私ガ委員長ニ代ッテ大要ヲ報告致シマス、本月七日ニ委員會ヲ開キマシテ、委員長理事ノ互選ノ結果引續キ會議ヲ開イテ、而シテ施出者ヨリ提出ノ理由ヲ述ベマシタ、政府ヨリハ別段ノ演說モ無イデアルカラシテ、若シ無イトスルナラバ、此上即決ヲシタラ宜カラウト云フ議論モ出マシタガ其時ニ政府委員カラシテ此案ニ對スルトコロノ意見ヲ述ベラレマシタ、政府ノ意見ハ既ニ豫算ニ日本大博覽會ノ要求ヲシテ居ルノデアルカラシテ、此際萬國博覽會ニ方針ヲ變ヘルト云フ意思ヲ持タヌト云フ意味ヲ述ベラレタノデゴザイマス、ソレカラシテ審議ヲシタ結果、既ニ一部分ヲ萬國的ニ組織ヲセラレタナラバ、尚進ンデ萬國組織トシテ以テ國力發展ニ伴フ設計ヲサレルガ宜カラウト云フコトノ意見ガ、滿場一致ヲ以テ決定シタ次第デゴザイマスカラシテ、成ルベク諸君ニ於テモ昨年此事ハ既ニ滿場一致ヲ以テ決シテ居ルノデアリマスカラシテ、委員長報告通ニ御可決アランコトヲ切ニ希望致シマス、是マデガ委員會ノ報告デゴザイマスガ、極ク簡單ニ私ガ此原案ノ維持說ヲ申述ベマスガ、其以後豫算ハ既ニ通過シマシタケレドモ、豫算總會ニ於キマシテモ亦豫算ガ本會議ニ提出セラレタ時ニ於キマシテモ、私ハ此組織ヲ萬國博覽會ニ改メラレンコトヲ希望スルト云フ意見ヲ以テ、此豫算ニ贊成スルノ意ヲ述ベテ置キマシタ、其際ニ當局大臣ハ共ニ御出席ニナッテ居リマシタケレドモ、別段其事ニ就イテ意見ヲ表明セラレナカッタト云フコトヲ以テ見マスルト云フト、當局ニ於キマシテモ此案ガ通過スルナラバ、萬國博覽會ニスルト云フコトニ於テハ、敢テ異議ナイコトデアルト云フコトヲ認定シテ、然ルベシト云フ位ニ考ヘテ居リマスカラシテ、成ルベク御贊成ヲ滿場ニ願フコトニ致シマス

（政度委員和田彦次郎君登壇）

○政府委員（和田彦次郎君）　萬國博覽會開設ノ建議案ニ付キマシテ、唯今委員長ニ代ッテ、委員會ノ經過及提出者トシテノ意見ヲ御述ベニナリマシタ、別ニ此處デ政府ノ意思ヲ敢テ申ス必要モ無イト思ッテ居リマシタガ、最後ニ提出者トシテ述ベラレタ言葉ノ中ニ、豫算ヲ議決スル際ニ於テ此博覽會ノ建議案ヲ出シテ居ルカラ、是ガ通過シタナラバ其意味ヲ政府ハ採用シテ呉レルコトヲ、希望スルト云フ意味ヲ以テ、總豫算ノ通上ノ關係ヨリ申シマシテモ、地勢上ノ關係ヨリ申シマシテモ、斯ク變更スルノヲ最モ便利ト認メタ所以デアリマスル、而シテ此際一言ヲ附加ヘテ置キタイノハ、斯ル問題ハ地方的ノ爭デアルトカ、或ハ黨派ノ爭デアルトカ云フコトガ、世間往々例ノアルコトデアリマス、併ナガラ本案ニ付キマシテハ、岡山縣選出ノ議員、政黨、政派ノ異同ヲ問ハズ、總テ贊成シテ居ルコトデゴザリマスカラ、斯ル弊害ハ毫モ其間ニ存在シテ居ラナイト云フコトハ御了解ヲ願ヒタイ、又政府ニ於テモ本案ニ對シテハ贊成ヲ表サレテ居ルコトデゴザイマスカラ、ドウカ御審議ノ上御贊成アランコトヲ切ニ希望致シマス

○改野耕三君　是モ議長指名九名ノ委員ニ付託シタイト思ヒマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○副議長（箕浦勝人君）　改野君ノ議長指名九名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ、御異議ハゴザイマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナシト認メテ其通決シマス――日程第十一萬國博覽會開設ニ關スル建議案、委員長報告――森本駿君

第十一　萬國博覽會開設ニ關スル建議案（森本駿君外一名提出）（委員長報告）

（森本駿君登壇）

○森本駿君　諸君、此萬國博覽會、開設ニ關スル建議案ハ、本日委員長、理事共ニ不在ニ付キマシテ、委員ノ一人トシテ私ガ委員長ニ代ッテ大要ヲ報告致シマス、本月七日ニ委員會ヲ開キマシテ、委員長理事ノ互選ノ結果引續キ會議ヲ開イテ、而シテ施出者ヨリ提出ノ理由ヲ述ベマシタ、政府ヨリハ別段ノ演說モ無イデアルカラシテ、若シ無イトスルナラバ、此上即決ヲシタラ宜カラウト云フ議論モ出マシタガ其時ニ政府委員カラシテ此案ニ對スルトコロノ意見ヲ述ベラレマシタ、政府ノ意見ハ既ニ豫算ニ日本大博覽會ノ要求ヲシテ居ルノデアルカラシテ、此際萬國博覽會ニ方針ヲ變ヘルト云フ意思ヲ持タヌト云フ意味ヲ述ベラレタノデゴザイマス、ソレカラシテ審議ヲシタ結果、既ニ一部分ヲ萬國的ニ組織ヲセラレタナラバ、尚進ンデ萬國組織トシテ以テ國力發展ニ伴フ設計ヲサレルガ宜カラウト云フコトノ意見ガ、滿場一致ヲ以テ決定シタ次第デゴザイマスカラシテ、成ルベク諸君ニ於テモ昨年此事ハ既ニ滿場一致ヲ以テ決シテ居ルノデアリマスカラシテ、委員長報告通ニ御可決アランコトヲ切ニ希望致シマス、是マデガ委員會ノ報告デゴザイマスガ、極ク簡單ニ私ガ此原案ノ維持說ヲ申述ベマスガ、其以後豫算ハ既ニ通過シマシタケレドモ、豫算總會ニ於キマシテモ亦豫算ガ本會議ニ提出セラレタ時ニ於キマシテモ、私ハ此組織ヲ萬國博覽會ニ改メラレンコトヲ希望スルト云フ意見ヲ以テ、此豫算ニ贊成スルノ意ヲ述ベテ置キマシタ、其際ニ當局大臣ハ共ニ御出席ニナッテ居リマシタケレドモ、別段其事ニ就イテ意見ヲ表明セラレナカッタト云フコトヲ以テ見マスルト云フト、當局ニ於キマシテモ此案ガ通過スルナラバ、萬國博覽會ニスルト云フコトニ於テハ、敢テ異議ナイコトデアルト云フコトヲ認定シテ、然ルベシト云フ位ニ考ヘテ居リマスカラシテ、成ルベク御贊成ヲ滿場ニ願フコトニ致シマス

（政度委員和田彦次郎君登壇）

○政府委員（和田彦次郎君）　萬國博覽會開設ノ建議案ニ付キマシテ、唯今委員長ニ代ッテ、委員會ノ經過及提出者トシテノ意見ヲ御述ベニナリマシタ、別ニ此處デ政府ノ意思ヲ敢テ申ス必要モ無イト思ッテ居リマシタガ、最後ニ提出者トシテ述ベラレタ言葉ノ中ニ、豫算ヲ議決スル際ニ於テ此博覽會ノ建議案ヲ出シテ居ルカラ、是ガ通過シタナラバ其意味ヲ政府ハ採用シテ呉レルコトヲ、希望スルト云フ意味ヲ以テ、總豫算ノ通過致シタナラバ必ズ政府ガ之ヲ採用スルモノデアルト云フコトヲ認ムルニ足ルト云フ御言葉デゴザイマスカラ、已ムヲ得ズ一言ヲ致シマス、當時豫算ノ際ニ森本君ヨリ其御說ガ出マシタ、速記錄ニモ明カニ留ッテ居ラウト信ジマスガ、其時ニ議長ハ希望デアルカラ決ヲ採ル必要ナシ、之ヲ解釋致シマスレバ一個人ノ希望ヲ此總豫算ノ問題ニ持ッテ出テ、決ヲ採ッタ例モ無イカラ、是ハ齒牙ニ懸クルニ足リナイ、問題トナスニ足リナイト言ハバカリニ一言ノ下ニ決ヲ採ラレタノデゴザイマス（ノウ〳〵）ソレ故ニ農商務大臣モ當時一言ヲ致サナンダノデ、賢明ナル議長ノ採決其當ヲ得テ居ルト、唯今モ信ジテ居リマス、故ニ此建議案ガ通過スルセヌト云フコトハ、本院ノ多數ノ意思デゴザイマスカラ、敢テ之ヲ彼此ト申シマセヌガ政府ハ此委員會ニ於テ述ベラレタ通ニ現在ノ日本ノ程度ニ於キマシテハ、豫算ニ求メテアル程度ノ博覽會ヲ以テ、最モ適當トナス故ニ建議案ニアル如ク、萬國博覽會ト云フコトニ改メルノ必要ヲ認メマセヌト云フコトヲ斷言致スデゴザイマスル、一言此事ダケヲ申上ゲテ置キマス

○渡邊修君　簡單デゴザイマスカラ此席デ申上ゲマス、博覽會ノコトニ付キマシテハ、貴衆兩院議員、及實業家等ヨリ委員ヲ擧ゲテ政府當局者ト愼重ナル調査ヲ致シタ結果トシテ、四十五年ニ規模ノ大ナル即チ萬國的ノ內國大博覽會ヲ開クト云フコトニナリマシテ、既ニ豫算モ決議ニナッテ居ルヤウナ次第デゴザイマスカラ、今更斯ノ如キ建議ヲスル必要ハ認メマセヌ、故ニ此建議ニ私ハ反對ヲ致シマス否決アランコトヲ望ミマス

○肥塚龍君　私ハ是ニ付イテハ默シテ居ル積リデゴザイマシタガ、反對ノ說ガ出マシタカラ一言致シマス、此席ニ於テ簡單ニ贊成ノ理由ヲ述ベマス、一體此萬國博覽會ト申シマスモノハ御承知ノ通帝國ノ輿論ト立派ニ言フコトガ出來ルノデアル、商業會議所カラモ二度モ萬國博覽會ノ建議ガ出テ居ル、議會ニ於テモ然リ、商業會議所ニ於テモ然リ、卽チ帝國ノ輿論ト言ウテ更ニ差支ハナイノデアル、然ルニ前會ニ全會一致ヲ以テ決シタルモノガ、反對デアルト云フコトハ私ハ甚ダ其意ヲ得ナイト思フ、又現在ノ遣方デ見マスト、御承知ノ通明治四十五年ニ大博覽會ヲ開ク、其費用ハ幾ラデアルカト云フト、タッタ一千万圓、其一千万圓モドウシテ出スカト云フト、開設地ニ二百万圓ノ御用金ヲ申付ケル、政府ガ自ラ出ス金ハ幾ラカト云ヘバ、タッタ五百万圓、アトノ二百万圓ハドウスルカト云フト、入場券ヲ賣付ケテ取ル、斯ウ云フ吝ナ遣方デアル、政府ガ其五百万圓ノ金モ一度ニデモ出スノナラバマダシモデアルガ、明治四十年カラ六箇年掛ッテタッタ五百万圓ヲチンビリ〳〵出ストハ情ナイ話デハゴザイマセヌカ、東京市ニ於テ二百万圓ノ金ヲ申付カッタ、東京市ハ僅ニ二分、五分ノ中ニ二百万圓ノ金ハ決シテ居ルガ、十七八箇月ノ間ニ二十億前後ノ戰爭ノ費用ヲ使フトコロノ政府ガ、實業ノタメニハ六箇年掛ッテ五百万圓トハ如何ナル有樣デアル、實ニ情ナイ話デアル、外國ノ例ハドウデアル、佛蘭西ノ例ハドウデアル、佛蘭西ノ例ヲ擧ゲテ言ヒマセウ、御承知ノ通佛蘭西ハ千八百七十年カラ七十一年ニ掛ケテ、普漏西トノ戰爭ノタメニ慘酷至極ノ目ニ遭フテ居ル、軍費ヲ斂ヘテ見マスレバ――償金カラ何カラ斂ヘマストニ云フト、二百億法ノ金ヲ使ッテ居ル、二百億ノ金ヲ使ッタ、此佛蘭西ハドウデアル、巴里ハ落城ダ、二百億ノ金ハ使ッタ、サウシテ其巴里ハドウデアルカト申シマスト云フト、早ヤ千八百七十三四年ノ頃ハ萬國大博覽會ヲ開クノ準備ニ著手シタデハゴザイマセヌカ、戰爭ニ大失敗ヲシタ佛蘭西ハ戰爭ガ濟ムヤ否ヤ、直ニ萬國大博覽會――其費用ハ一千万圓ヤ二千万圓ノ費用デハナイ、尤モ巴里ノ戰後、千八百七十箇カ九年デアッタト思ヒマス、今日ノ亞米利加アタリデ開カレルモノニ比ベテ見レバ規模ハ稍〻小サイ、小サイガ一千万圓ヤ二千万圓ノモノデハゴザイマセヌ、此破レタトコロノ巴里ハ戰爭ニ負ケルヤ否ヤ、直グニ萬國大博覽會ヲ開クト云フ

コトヲヤッタノニ、堂々タル帝國――世界列強ノ中ニ仲間入ヲシタ、口ヲ開ケバ強國ノ仲間入ヲシタト言ヘ、一箇年半バカリニ二十億ノ金ヲ使ッタ、其帝國ガ五百万圓ノ金ヲ六箇年年々償却ト云フ遣方デアル、實ニ殘念ナ話デアル、又此森本君ノ出サレタ建議案ヲ見マスルト、私共ハ是デモ誠ニ規模狹小デ、ナゼモウ少シ大キクヤラナカッタト思フ位デアル、併ナガラ止ムニ勝レリ、唯是サヘヤレバ先キハ五年ニ六年アル、五年ニ六年ノ間ニ規模ヲ大キクシテ行クコトハ何デモナイ話デアル、又是マデ世界各國ガ萬國博覽會ヲ開イタニ、大抵準備ノ年月ハ長キハ五年、短キハ二年、萬國博覽會ノ歷史ヲ御覽ニナッタ諸君ハ御承知デアル、長イノガ五年デ、短イノガ二年デ、堂々タル博覽會ヲバ――萬國博覽會ヲ開イテ居ルガ我國ハマダ先キ六箇年ヲ控ヘテ居リマスカラ、是カラ如何ナル準備デモ出來ルノデゴザイマスカラ、小規模ナガラニモ此森本君ノ建議案ヲ基礎トシテ、モ少シ規模ヲ大キクシテ明治四十五年ニハ成程世界列強ノ中ニ仲間入ヲシタ日本帝國ノ大都府ノ萬國大博覽會デアルト云フコトヲバ示シタイト思ヒマスカラ、簡略ニ此席ヨリ森本君ノ建議案ニ贊成致シマス

（拍手起ル）

（磯部四郎君登壇）

○磯部四郎君　私ハ詰リ森本君ノ案ニ贊成ヲ致スモノデゴザイマスガ、今肥塚君カラ立派ナ御演說モアリマシタカラ、私ハ一體思止マラウト云フ考デアリマシタガ、農商務次官ノ反對ノ御演說ハ餘程嚴シイ御演說デアリマシテ、初メヨリ農商務省ハ此萬國博覽會ト云フコトニ反對ノ意思ヲ持ッテ居ラレタカト云フト、サウデハナイノデアリマス、即チ昨年ノ夏――暑イ時分ニドウ云フ因緣デゴザイマシタカ、吾ミ共迄モ御呼附ケニナッテ、其際ニ於テハ稍ゝ萬國博覽會ト云フヤウナコトモ行ハレルナラバ行ヒタイト云フヤウナコトモアリマシタ、詰リ其時ニハ萬國博覽會ハ設ケタイケレドモ尙早イ、即チ明治御一新ノ初マリカラ、何カ一ッ事ガ出來ルト尙早イ早イデ、遷延シテ來マシタガ、其早イ早イト云フ中ニ行ッテ來タ事ノ中デ、今日マデ失敗ニ終ッテ居ルモノハ一ツモナイノデアリマス、尙早論ニナリマスト、國會開設ノ如キハ現ニ私ハ指名ハ致シマセヌケレドモ、尙早論者ガ內閣々臣ノ中ニ於テ、明治三十五年ヲ以テ開設ヲ期スル、ソレデモ早イガ致方ガナイ、國勢如何トモスルコトガ出來ヌカラ、先ヅソレマデ御待チナサッタナラバ漸ク國會ラシイモノガ出來ルデアラウト云フコトガ、今日デモ書類ノ中ニ殘ッテ居ルト信ズルノデアリ、若シ果シテ尙早論者ノ意ニ從ッテ、二十五年マデ國會ノ開設ヲ延期シタナラバ、日清戰爭ノナスコトモ出來ズ、日露戰爭ヲ見ルコトモ出來ズシテ、亞細亞ノ一孤島ニ葬ラレタト思ヒマス、尙早論者ハ日本人ノ憶病風ニ誘ハレテ居ル人間ノナスコトデアリマスカラ、勇氣ヲ以テ四十五年ニ御開キニナルナラバ、私ハ島田君ヲ倣フノデハアリマセヌガ、豫言者トシテ申スト、立派ニ出來ルト思ヒマスカラ、此建議案ニ滿場ノ諸君ノ御贊同アランコトヲ望ミマス

○副議長（箕浦勝人君）　採決致シマス――委員長報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○副議長（箕浦勝人君）　起立者　多數

○副議長（箕浦勝人君）　多數ト認メマス――日程第十二、ローマ字普及ニ關スル建議案

第十二　ローマ字普及ニ關スル建議案（松本君平君外三名提出）

（書記朗讀）

ローマ字普及ニ關スル建議案

ローマ字ハ之ヲ習フニ易ク之ヲ用ユルニ甚タ簡便ニシテ今日之ヲ知ルノ要ハ片假名いろは文字ノ必要ニ讓ラス是レ時勢進運ノ然ラシムルトコロタリ故ニ小學校兒童ヲシテ之ヲ習ハシメムカ多クノ困難ナクシテ善ク讀ミ善ク書スルニ至ラム更ニ進ムテ外國語ヲ學フニ至ラハ學童時代ニ習得シタルローマ字ノ素養ハ多大ノ助ケトナルヤ必セリ夫ノアラビヤ數字ハ早ク既ニ小學教育ノ一課目トシテ教習セラレ今ヤ全國ニ普及シ其ノ教育上ニ社會上ニ與ヘタル利益ト便宜トハ擧テ數フヘカラス ローマ字ノ普及ハ更ニ是ヨリ多大ノ利便ヲ國民ニ與フルハ言ヲ俟タス依リテ政府ハ速ニ小學教育ノ一課ニローマ字ノ教習ヲ加ヘラレムコトヲ望ム

右建議ス

（松本君平君登壇）

○松本君平君　本員ハ羅馬字ノ普及ニ關シ一ノ建議案ヲ提出シタノデアリマス、此羅馬字普及ノ事柄ハ輕少ナラザル國民教育ノ問題デアリマス、諸君ノ御贊同ヲ願フニ先ッテ建議案ガ世間ヨリ誤解セラレザランコトヲ希望スルノデアリマス、此案ハ漢字、若クハ假名文字ヲ排斥スル如ク誤解セラルヽガ、決シテ斯ノ如キ國學ノ改良問題ニ論及スルノデハナイ、唯平タク云ヘバ羅馬字ヲ小學ノ教育ニ入レテ、兒童ヲシテ習ハシムルヤウニシタイト云フニ過ギヌ、極メテ事柄ハ平穩無事デ國民教育ノ上ニハ、多少ノ貢獻ヲ與ヘルコト、信ズルノデアル、此案ノ精神ハ既ニ漢字、又ハ假名文字ヲ排斥スルノデナク、又國學ヲ急激ニ改革シヤウト云フ考デモナイ、私ハ國字ニ付イテ今日使用ノ漢字又ハ假名文字ニハ多大ノ尊重心ト、敬意トヲ拂ッテ居ルモノデアル、夫故ニ之ヲ急激ニ排斥シテ新イ文字ヲ使フト云フコトハ、愼重ニ考ヘナケレバナラヌ事柄ト考ヘテ居リマス、又國民教育ノ上ニ於テ現在使用シテ居ル漢字、又ハ假名文字ニ付キ研究ヲスルト云フコトハ、是亦一日モ等閑ニ附スベカラザルコトト信ズル、併ナガラ是等ノ理由ヲ以テ羅馬字ヲ國民教育ノ一課トシテ、小學校ニ入レルコトノ出來ヌト云フ理由トスルニハ足ラヌト思フ、又漢字若クハ假名文字ト羅馬字ト兩立スルコトガ出來ヌト云フ理由ハナイト思フ、私ハ此漢字及ビ假名文字ト羅馬字ノ優劣、又ハ得失ヲ論ズルノデハナイ、唯羅馬字ヲ普通教育――小學校教育ノ一部トシテ習ハセタイ、言葉ヲ換ヘテ云ヘバ漢字又ハ「イロハ」ノ如クニ、羅馬字ヲ小學教育ノ仲間ニ入レタイト云フニ過ギマセヌ、是ハ今日ノ時代ガ確カ其必要ヲ感ジテ居ルノデ、時代ノ要求ニ迫ラレテ居ルノデアリマス、又今日ノ時勢ヲ顧レバ確ニ此羅馬字ノ研究ヲナスニ足ル時勢ノ進歩ヲナシテ居ルト思フ、店頭ニアル各種ノ商品デアルトカ、或ハ見世先キニ掛ケラルヽ看板、或ハ諸種ノ記號トカ、其他車夫馬丁ガ用ヒル提灯牽ニ至ルマデ、羅馬字ヲ使用シテ居ルノデ既ニ羅馬字ノ使用ガ社會ニ觀迎サレ、社會人心ガ之ヲ用イルニ差支ナイ程度マデ今日ハ進ンデ居ルモノト信ズル、此羅馬字ハ至極便利デ、簡單デ、世間デ想像スルヨリモ簡便ノ文字デアリマス、僅カニ二十六字ノ母音ト子音トヲ覺エレバ即チ宇宙萬有ノ事物ヲ書キ得ラレ、百般ノ想像ヲ寫シ思想ヲ寫スコトガ出來ルノデアリマス、其綴方ハ僅少ノ時間デ出來ルノデ、恐ク此文字位世ノ中ニ平民的ノモノハナカロウト思フ、サウシテローマ字二十六文字ノ極メテ優美デアル、吾ミノ知ルトコロノ智識ヲ以テ考フレバ一番之ガ優美ノ文字デアルト云フコトガ云ヘル、夫ハ之ヲ見テ不愉快ノ感ヲ起サヌ、之ヲ見テ目ニ快感ヲ與ヘル特色ガアル、多クノ曲線ガアッテ美術的ニ出來テ居ル、其原因ハ御承知ノ如ク羅馬字ノ起リハ埃及ノ、繪文字カラ進化シタモノデ、今日モ二十六文字ハ幾分カ繪畫ノ跡ガアリ、美術的ニ見エルト學者ガ唱フルノデアリマス、此點ハ餘程大切ノコトデ、今日迄世界ノ各種ノ文字ガ五千年ノ間ノ優勝劣敗ノ戰ヲ經テ、羅馬字ガ獨リ勢力ヲ得テ優者デ居ル所以ノモノハ、全ク此點ニアルト思ヒマス、又小學校ノ子供ガ嫌ハズニ樂ンデ之ヲ習フト云フノハ、此優美ナル美術的ノ性質ヲ備ヘテ居ルカラデアル、サウシテ是ハ世界各國文明國ノ多數ガ使フテ居ルノデ、殆ド世界共通ノ性質ヲ持ッテ居ル、故ニ日本ノ國民ガ下女オサンニ至ルマデヲ理會シ書キ得ルコトニナッタナラバ、世界ノ人ガ日本ノ言語、文字ヲ容易ク理會シ、容易ク書キ得ル便利ガアルノデ、此點ニ於テモ多大ノ便利ヲ持ッテ來ルノデアリマス、恐ク

日本ノ國語ガ若シ完全ナル國語デアッタナラバ、世界ノ學者ハ集ッテ日本ノ言葉ヲ世界ノ通用語ニスルカモ知レヌノデアリマス「エスペランド」ノ如キ或ハ「ボラピユーク」ノ如キ是等ノ世界語ハ廢セラレテサウシテ日本語ガ世界ノ通用語ニナルカモ知レヌト、私ハ思フノデアリマス、此西洋ノイロハ二十六文字ヲ小學時代ニ於テ習ウテ置イタナラバ、更ニ進ンデ中學校ニ入リ、大學ニ入ッタトキニ、英吉利語ヲ學ビ、佛蘭西語ヲ學ビ、獨逸語ヲ學ブトキニ、多大ノ便利ヲ得ルコトハ信ジテ疑ハヌノデアリマス、小學時代ニ苟モ目ニ入リ耳ニ入ッテ能ク此ノ、羅馬字ノ性質ヲ學ンデ居レバ、更ニ進ンデ中學ニ入リ、大學ニ入ッタトキニ、外國語ヲ學ブ場合ニ多大ノ便宜ト非常ナ利益ヲ得ルニ相違ナイト信ズルノデアリマス、ソレ故ニ是等ノ多クノ理由ト、是等ノ今申上ゲマシタトコロノ種々ノ利益トニ依ッテ、私ハ今日ノ時代ノ趨勢ハ羅馬字ヲ小學ノ教育ニ入レテ、小サナ時分ヨリ西洋ノ「イロハ」ヲ習ヒ、サウシテ此「イロハ」ノ發音綴方ヲ知ラセルト云フコトハ將來ニ於テ國民教育ノ上ニ多大ノ進歩發展ヲ促スコトガ出來ルト信ズルノデアリマス、「アラビヤ」數字ハ既ニ明治ノ初年ニ於テ小學校ニ入レタノデアリマス我ミハ今日「アラビヤ」數字デアルカナイカ分ラナイ位ニマデ、既ニ日本ニ同化サレテ居ルノデアリマス、此「123」ノ「アラビヤ」ノ數字ハ國民ハ明治ノ初年ニ於テ小學校ニ於テ學ンダノデアル之ガタメ、今日政府ニ於テモ、官廳ニ於テモ、或ハ銀行ニ於テモ、會社ニ於テモ、此「アラビヤ」數字ノタメニ非常ナル便利ヲ得ッ、アルノデアリマス、若シ今日是等ノ「アラビヤ」ノ數字ヲ日本現時ノ社會ヨリ引去ッタナラバ、世ハ殆ト混沌タル世ニ陷ルデアラウト思フノデアリマス、是程「アラビヤ」ノ數字ガ——小學校時代ニ於テ學ンダ「アラビヤ」數字ガ日本ノ文運日本ノ商業其他日本ノ文明ニ貢獻シタル所甚ダ偉大ナルト同時ニ若シ將來ニ於テ——近キ將來ニ於テ、羅馬字ガ一般國民ニ普及サレタ曉ニ於テハ更ニ多大ナル便宜ヲ國民教育及日本ノ文明ニ貢獻スルデアラウト信ズルノデアリマス、茲ニ一ツノ斯ウ云フ反對ガアルノデアリマス、文部省邊ニモ斯ウ云フ反對ガ幾ッテ居ル、其反對ハ何デアルカト云フト羅馬字ト云フコトハ宜イ、宜イガ、今日ノ小學ノ教育ハ餘リ教ユルモノガ多イカラ羅馬字ヲ入レルダケノ餘地ガ無イト云フ議論ヲシテ居ルモノガアルノデアル、併ナガラ是ハ事實ニ於テ全ク反對デアルノデアリマス、何トナレバ今日ノ小學教育ト云フモノハ漢字ヲ習フト云フコトガ、大分減ッタノデアル、小學ノ讀本ヨリ漢字ガ餘程少ナクナッタノデアリマス、羅馬字ヲ學ブダケノ頭ニ餘地ト云フモノハ今日ハ十分アルノデアリマス、其外ニ義務年限ト云フモノハ四年ノモノガ、是ヨリシテ六年ニナルト云フコトニナッテ、一年ダケ小學教育ノ義務年限ガ殖ヘタノデアリマス、是等ノ餘地ハ卽チ小學ノ兒童ヲシテ苦痛ナク羅馬字ヲ習ハシメ、又羅馬字ヲ學ハシムル餘地ガ十分アルノデアリマス、若シソレトモ尙羅馬字ヲ習ハスコトニ就テ苦痛デアッタナラバ——小學兒童ガ學ブコトガ苦痛デアッタナラバ、小學校ニ於テ四年間ニ於テ從來學ンダ漢字ノ數ハ約、五百字位アルノデアリマス、此五百字ヲ四年間五年間ニ於テ小學校デ兒童ノ頭ニ詰メル、其詰メル數ヲ少シ減ラシテ其代リニ羅馬字ヲ習ハセルト云フコトニナッタナラバ、更ニ多大ノ利益ヲ得、必ス成功スベキコトデアラウト思フノデアリマス、近年ニ至ッテ羅馬字ヲ採用シタル國ハ白耳義デアリマス、和蘭デアリマス、洪牙利デアリマス、獨逸デアリマス、是等ノ歐羅巴ノ文明國ハ皆ナ羅馬字ヲ採用シタノデアリマス、其中ニ就テ特ニ注意スベキ所ハ獨逸デアリマス、獨逸ハ御承知ノ如ク從來「ギチヤ〳〵」シテ居ル羅馬字トハ違ッテ居ル龜ノ甲ニ似タヤウナ字ヲ使用シテ居ッタノデアリマス、併ナガラ此獨逸ハ從來使用シテ居ッタトコロノ龜甲文字ト云フモノハ隨分議論ガアッテ、目ニモ宜クナイ、或ハ体裁ガ惡イト云フヤウナ議論ガアッテ、之ガ學者ノ間ノ議論ガアッテ種々研究ノ結果獨逸ハ國字ヲ改良シナケレバナラヌ、偖テ文字ヲ改良スル曉ニ於テ何レノ國ノ文字ヲ採ルコトガ最モ便利デアルカト云フコトニナッテ、遂ニ羅馬字ガ一番世界的ノ文字デアル、又一番優美ナル文字デアル、又數千年ノ間各種文字ノ生存競爭ノ闘ニ於テ一番成功シタモノデアル、文字上ニ於ケル優者ハ羅馬字デアルト云フコトノ定說ニナッテ、從來ノ龜甲形ノ文字ヲ廢シテ羅馬字ヲ使用スルコトニナッタノデアリマス、私共ガ書生ノ時代ニ於テハ殆ド獨逸ノ讀本ト云フモノハ龜甲文字ニ依ッテ習ッテ居ッタノデアリマス、羅馬字ハ一字モ見ルコトガ出來ナカッタノデアリマス、然ルニ今日ニ於テハドウデアルカト云ヘバ殆ンド獨逸ニ於ケル讀本ノ半分ハ羅馬字ニ依ッテ書カレテ居ルノデアリマス、又學問上ノ書籍ハ悉ク羅馬字ニナッテシマッテ居ルノデアリマス、又高等ニ使フ文字ハ從來ノ獨逸ノ文字ヲ使フモノハ一人モ無ク、悉ク羅馬字ヲ使ッテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク羅馬字ノ勢力ト云フモノハ、非常ニ便宜デアル、簡便デアルト云フコトノタメニ、獨逸ニ於テハ大成功ヲシテ居ルノデアリマス、此結果ハ能ク獨逸ノ文運ニ偉大ナル貢獻ヲナシツ、アルノミナラズ、世界ニ於テ獨逸語ヲ學ブモノガ非常ニ殖エタノデアリマス、是ハ卽チ外國ノ例デアリマス、之ニ付イテ私ハ日本ガ此國運興隆ノ時機ニ於テ、羅馬字ヲ小學ノ教育ニ入レテ、兒童ヲシテ之ヲ習ハシテ貰ヒタイト云フコトヲ希望スルノデアリマス、私ハ繰返シテ玆ニ一言申述ベマスル、私ハ決シテ漢字ヲ排斥シヤウト云フ議論デモナケレバ、又假名文字ヲ排斥シヤウト云フ議論デモナイノデアリマス、又今日行ハレテ居ル所ノ國字ヲ急ニ改正セントスルモノデハナイノデアリマス、併ナガラ此優美デアリ且ツ美術的ニ出來テ便宜デアル簡單デ平民的デ然モ世間的デアルトコロノ羅馬字ヲ國民教育ノ一部ニ入レテ學バシムルト云フコトニナッタナラバ、日本ノ教育上ノ利益ハ殆ド測ルベカラザル所ノ進歩ヲナスコトガ、出來ヤウト思フノデアリマス、爾テ國民文學ノ上ニ一段ノ進歩發展ヲ促ス時代ガ來テ、日本ノ將來ノ文明ニ一大貢獻ヲ爲ス時代ガ來ルデアラウト深ク信ズルノデアリマス、人ヲ教育スルモノハ卽チ樹ヲ植ルガ如シト、古ノ聖人ガ言ッテ居ルガ、國民ヲ教育スルノハ恰モ斯ノ如ク卽チ幾多ノ歲月ヲ要サナケレバナラヌノデアリマス、我ミノ時代ニ於テ此羅馬字ヲ學ブト云フコトガ直チニ以テ利益ニナル、直チニ以テ多大ノ貢獻トナスヤ否ヤト云フコトハ疑問デアリマスケレドモ、政事家ノナスベキ所ノ事業ハ卽チ子孫後世ノタメニ我ミガ盡スベキ十分ノ義務ヲ有ッテ居ルト信ズルノデアル、或ハ今日現在ニ於テ多少ノ貢獻ヲ收メルコトガ出來タナラバ、則チ吾ミハ子孫後世ノ爲メニ大ニ盡サンケレバナラヌト信ズルノデアリマスガ故ニ、私ハ茲ニ此案ヲ提出シテ、賢明ナル諸君ノ御贊同ヲ得ンコトヲ希望スルノデアリマス

〔「贊成々々」ト呼フ者アリ、拍手起ル〕

○改野耕三君　此案ハ九名ノ委員ヲ議長カラ指定シテ、調査ヲ委託スル……

○副議長（箕浦勝人君）　改野君ノ動議、議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ハナイト認メマス、其通リ決シマス、日程第十二、鐵道計畫ノ速成改善ニ關スル建議案

第十三　鐵道計畫ノ速成改善ニ關スル建議案（佐竹作太郎君外百五十七名提出）

〔書記朗讀ス〕

鐵道計畫ノ速成改善ニ關スル建議案

政府ハ本期議會ノ豫算會議ニ於テ將來敷設スヘキ鐵道計畫ヲ說明セラレタリ然レトモ今ヤ交通機關ノ革新ニ際シ其ノ年度ノ遼遠ニ過キ戰後發展ノ急

要ニ適應セサルノ感アリ依リテ諸般ノ改善ヲ期シ尚年度ヲ短縮シ竣成ヲ速ナラシムル方法ヲ執ラレムコトヲ望ム

右建議ス

○副議長（箕浦勝人君）　佐竹作太郎君

（佐竹作太郎君登壇）

○佐竹作太郎君　私ハ本案建議者ノ一人トシマシテ、聊カ説明ヲ致シマシテ、諸君ノ御贊成ヲ得タイト思フノデアリマス、大要ハ理由書ニモアリマスルデ、詳シク説明ヲ致シマスノ要ハナイト思ヒマスル、唯今本案ニアリマシタ通リ、政府ハ本期議會ノ豫算會議ニ於キマシテ、將來敷設スベキ鐵道計畫ヲ説明セラレタノデアリマスガ、其年度ノ遼遠ニ失シマシテ、如何ニモ悠ミタル計畫ノヤウニ思ヒマスルノデ、遺憾ナガラ吾ミハ政府ノ説明ニ同意スルコトガ出來マセヌノデアリマス、吾ミハ進ンデ現在ノ此鐵道敷設法ニアリマスル一期線若クハ豫定線ト云フモノハ、サウ云フ區別ヲ今日ハ取リマシテ、速ニ敷設セラレンコトヲ希望スルノデアリマスルガ、是亦サウ一時ニ敷設スルト云フコトモ出來ヌト思ヒマスルノデ、ソレ等ニ付キマシテハ能ク政府ノ意見モ聽キ、又吾ミノ愚見ヲ述ベタイト思フノデアリマス、今一ツハ此既成鐵道ニ對スル改善デアリマスガ、此事ニ付イテモ御承知ノ如ク此戰後發展ノ今日ニ於キマシテ、政府ハ既設鐵道ニ對シテ將來ノ如何ナル計畫ヲサレルカ、改善ヲサレルカト云フコトハ、吾ミ未ダ聽キ得マセヌノデアリマス、此頃モ承リマスレバ、民間ヨリ此東京ヨリ大阪ニ達スル鐵道條例ニ依ル電氣鐵道ヲ敷設シタイト云フ出願モ出テ居リマスルヤウデ、今日民業發達ノ時代ニ於キマシテ此等ノ計畫アルノハ、卽チ此發達ニ伴フ或ハ計畫デナイカトモ思ヒマス、サウスレバ政府ハ此等ニ對シマシテ、如何ニ此既設鐵道ヲ改善セラルヽヤ否ヤ、ソレ此レニ付キマシテ政府ニ質問ヲ致シ政府ノ意思ヲ能ク確カメテ置ク必要ガアルト考ヘマスルノデ、本案ヲ提出ヲ致シタノデゴザイマスルカラ、ドウゾ滿場ノ諸君ノ御贊同ヲ得マシテ、特別委員會ニ付セラレテ、能ク調査ヲサレンコトヲ希望致シマス

（「贊成々々」ト呼フ者アリ）

○改野耕三君　是ハ地方ニ隨分關係ノアル問題ト思ヒマスルカラ、委員ヲ十八名トシテ、議長ノ指名アランコトヲ望ミマス

○副議長（箕浦勝人君）　改野君ノ動議、議長指名十八名ノ委員ニ附託スルニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナイト認メテ其通リ決シマス、報告ガアリマス

（書記朗讀）

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

地方裁判所ノ支部全部復舊ニ關スル建議案

提出者　奥野市次郎君　立川雲平君　磯部四郎君

阿部德三郎君　工藤善助君

未成年者飲酒禁止法案

提出者　根本正君　中林友信君　村松愛藏君

鳥山敬二君

商科大學設立ニ關スル建議案

提出者　根本正君　上野彌一郎君　粕谷義三君

江原素六君　山根正次君　加瀨禧逸君

鳥山敬二君

一委員ヲ指名スル左ノ如シ

貨幣法中改正法律案

千葉禎太郎君　前島元助君　森本駿君

植木元太郎君　首藤陸三君　松原九郎君

奥村善右衞門君　横山一平君　神藤才一君

戶籍法中改正法律案

宮古啓三郎君　福島勝太郎君　北村左吉君

角田眞平君　淺見竹太郎君　入江武一郎君

岡井藤之丞君　小川平吉君　石田貫之助君

衆議院議員選擧法中改正法律案

栗塚省吾君　三浦盛德君　立川雲平君

村松愛藏君　植場平君　小田貫一君

長谷部倉藏君　江崎哲藏君　犬養毅君

木下謙次郎君　望月長夫君　野木善二郎君

大畑純次君　谷澤龍藏君　牧野逸馬君

淺羽靖君　大竹貫一君　加瀨禧逸君

鹽專賣法廢止法律案

根本正君　長晴登君　山森隆君

湯山壽介君　中西光三郎君　麥田宰二郎君

久保彥太郎君　島津良知君　小田文行君

西村眞太郎君　合田福太郎君　守屋此助君

栗原宣太郎君　嶺山時善君　寺井純司君

竹內正志君　島田三郎君　橋本久太郎君

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

由布惟義君　內藤魯一君　河上英君

西村丹治郎君　石田仁太郎君　關春茂君

大戶復三郎君　高木龍藏君　富島暢夫君

ローマ字普及ニ關スル建議案

江原素六君　松本君平君　中林友信君

池松豐記君　森田卓爾君　澤來太郎君

山根正次君　小川平吉君　鵜飼退藏君

鐵道計畫ノ速成改善ニ關スル建議案

佐竹作太郎君　中西六三郎君　丹後直平君

松浦五兵衞君　本出保太郎君　大岡育造君

山村豐次郎君　古賀庸藏君　內藤利八君

清水隆德君　藤澤幾之輔君　佐藤庫喜君

武市庫太君　城重雄君　小河源一君

是永歲太郎君　藤崎朋之君　國谷亨君

○副議長（箕浦勝人君）　明後日ノ議事日程ハ、追テ公報ヲ以テ御通知致シマス、今日ハ是ニテ散會

午後三時四十八分散會